

会 社 の 轍

会 社 創 業 か ら 6 0 年 の あ ゆ み

1954—2014

KYODOKENSETSU FUJIMURAGUMI Co.Ltd. **60TH ANNIVERSARY**

株 式 会 社 郷 土 建 設 藤 村 組

会 社 の 轍

会 社 創 業 か ら 6 0 年 の あ ゆ み

1954—2014

株 式 会 社 郷 土 建 設 藤 村 組

目 次

社長挨拶	4
社長人生 5 訓・社長心得	5
創業者（故・藤村四郎）略歴	6
環境サービス社長挨拶	7
創業当時の思い出	8
工事高推移	20
除雪作業	21
優良工事一覧	28
施設概要	34
主要車両一覧	38
主要機材一覧	42
独自工法	44
I T 化の歴史	48
役員の変遷	50
現役員	52
現社員一同	54
環境サービス業務概要	56
年表	58
60 周年記念慰安旅行	84
許可所属団体免許	92
家系図	93
編集後記	95



代表取締役社長 藤村 博俊

(株)郷土建設藤村組は、今年、創業 60 年を迎えました。そこで、その 60 年の歩みを刊行することといたしました。会社にある資料と私の記憶、さらに私の父である創業者（故・四郎）と一緒にやってこられた方々の話を総合してまとめました。

まず社名ですが、当初は「藤村組」にしようかと思ったのですが、創業者の義理のおじ（故・藤村半次郎）が、既に昭和 22 年ころから浦川原村飯室にて「藤村組」という建設業を営んでおりました。（その後廃業）

そこで、郷土に貢献しようという気持ちと、将来従業員の中から分家に出るときは、郷土建設何々組にしてもらおうという願いがあり、昭和 29 年 1 月 26 日に「郷土建設藤村組」で登録したと創業者は語っていました。

個人仕事と下請けをしながら、昭和 33 年から県や村の仕事を請け負うようになり、昭和 40 年代に入ると公共事業も増え、人・機械・事務所・倉庫もそれなりに整ってきました。ところが、さてこれからという昭和 43 年 2 月に創業者が脳梗塞で倒れます。父 43 歳、私が 16 歳の時でした。

従業員も 1 人、2 人と辞めていき、昭和 45 年 3 月には誰もいなくなりました。残ったのは借金 3 千数百万円（現在の価値でおよそ 1 億円）で、返済するまでに 10 年以上かかりました。

その後、平日は病気の創業者と日雇いの人たちが細々と仕事をしていました。私と弟 2 人も学校に通いながら、春、夏、冬休みはもちろん、土、日、祭日に学校の友人を連れてきて、家業の土木工事の仕事をせざるを得ませんでした。

そのころ、祖母（故・キクノ）が上越市仲町 2 丁目に

ある稲富家政婦会に入り、泊まり込みで働き、月 5 万円の収入で一家 6 人が暮らしていました。借金返済とわれわれの学費のために、機械、土地、倉庫と売れるものはすべて売り、最後には藤村家初代からの杉の木などを売って、耐え忍んできました。そんな中でも両親は、私たちを学校に通わせ、卒業させてくれました。

昭和 46 年春、私は高校卒業と同時に家に入り、土木工事に携わりました。その後、昭和 52 年に三男の勝久が入りました。

昭和 53 年春に私は結婚し、事務所は妻マサヨ、現場は私と勝久が切り盛りしていました。昭和 54 年に株式会社にし、その翌年に二男の隆昭、また春日武義君も入社し、徐々に工事量も増えた次第です。

その後、建設業とは全く違う分野の仕事ということで、し尿くみ取りの会社である「(株)環境サービス」を平成元年に設立し、初代社長に母である藤村マキが就任しました。平成 2 年から営業し、平成 4 年に春日清貴君が入社して、年々仕事も増えて今に至っています。(株)郷土建設藤村組の子会社である同社の創業当時から今に至るまでについては、現・環境サービス社長から記してもらうことにしました)

今日、この日があるのも創業者の兄（故・高波富士太郎＝安塚区牧野）から支援していただいたこと。その時々素晴らしき先輩、友人に出会い、ご指導いただいたこと。さらに何と言っても父と母が事業を継続していくという、「諦めない、逃げない、常に挑戦する気持ち」こそが原点かと思います。さまざまな困難の中、男 3 人を健康な体に育ててくれた両親や祖母と、今日まで健康でいられたことに感謝、感謝であります。

今いる若い従業員の皆さまからも創業の苦しみと精神を決して忘れることなく、1 年に 1 度はこの記念誌をみていただき、80 周年、100 周年史が作れるよう、鋭意努力していただきたいと思います。

私も体の続く限り、地域の皆さまに信頼され、安心して働ける会社を目指して全力で努力する所存であります。

最後になりましたが、発注官庁、監督官庁、市町村長、また会社関係そして地域の皆さま、いつも大変お世話になりありがとうございます。

今後の一層のご支援を切にお願い申し上げ、ご挨拶いたします。

人生五訓

一・心身ともに健康であれ

一・約束は守れ

一・受けた恩義は忘れるな

一・貧しさを知れ

一・好きな仕事を選べ

平成二十二年九月二十七日

藤村 博俊

五十九歳

社長心得

一、社長は毎日現場を廻れ

（現場は生き物である）

（水理・水系を知れ）

（現場に問題があり、答えも現場にある）

一、感性を磨け

一、柔軟になれ

（何事にも対応できるようになれ）

一、常に危機感を持て

（心配性になれ）

（二の矢、三の矢をもて）

一、決算は社長の成績である

（三年連続赤字であれば社長交代）

平成二十三年一月一日

藤村 博俊

創業者（故・藤村四郎）略歴



昭和42年（41歳）頃

氏名：藤村 四郎（旧姓：高波）

1925（大正14）年11月20日、新潟県東頸城郡安塚村大字牧野336番地
父：高波豊治 母：高波ミナ夫婦の四男として生まれる。
（長男戸籍記載なし 次男：富士太郎、三男：安太郎）
1940（昭和15）年3月25日、東頸城郡安塚村立尋常高等小学校高等科卒業

■職歴

1940（昭和15）年4月10日～ 昭和17年2月20日	東京市芝区役所土木課就職
1942（昭和17）年3月1日～ 昭和20年2月10日	東京市村上組現場作業に従事
1945（昭和20）年2月16日～ 昭和20年9月10日	軍務に服役
1946（昭和21）年4月20日～ 昭和23年5月20日	西頸城郡糸魚川町白沢組 現場監督として勤務、頸城村大池改修工事に従事
1948（昭和23）年7月10日～ 昭和24年6月10日	中魚沼郡真人村 株式会社大和建設信濃川発電工事事務所に現場監督として勤務
1950（昭和25）年1月12日	藤村マキと婚姻、氏を藤村に選択 本籍：新潟県東頸城郡下保倉村大字猿俣219番地 更生：昭和31年6月1日東頸城郡浦川原村大字上岡219番地
1950（昭和25）年4月1日～ 昭和29年1月26日	東頸城郡下保倉村飯室藤村組代理人として勤務
1954（昭和29）年1月26日	郷土建設藤村組創業
1968（昭和43）年2月6日	脳軟化症で突然倒れる
1979（昭和54）年1月5日	株式会社 郷土建設藤村組に組織変更 資本金500万円 代表取締役就任
1983（昭和58）年2月23日	死去



環境サービス社長 藤村勝久

このたび㈱郷土建設藤村組が創立60年を迎えたということで、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。

私、平成19年4月より㈱環境サービスの2代目代表取締役社長に就任致しました、藤村勝久でございます。

このたび、親会社の㈱郷土建設藤村組が創立60年史を発刊するという一言ご挨拶を申し上げます。

平成元年10月創立の当社としましても、ちょうど25年目を迎え、節目の年になりますので今回、過去の出来事を振り返りながら、少しまとめてみたいと思います。

当社の創立当時は、日本経済もバブルの入り口で、私も藤村組に入社して12～13年がたち、土木の仕事にも慣れて、仕事は次から次へと繋がり、やればやるだけ利益も出るし、土木の仕事が楽しくて、楽しくてたまらないというふうに感じていた時代です。

しかし、どこか頭の片隅には「こんないい時代がいつまでも続くのだろうか？」という一抹の不安もありました。

ちょうどその頃、私の妻の実家が三条で衛生業（㈱三条衛生社）を営んでいたので、「私も上越で衛生業を始めようとしたら…可能だろうか？」と聞きました。すると「簡単ではないが、不可能ではないと思う…もし本気ならば全面的にバックアップするぞ」という力強い言葉をもらい決心しました。

そしてその話を藤村組社長（藤村博俊）に話して、藤村組の土木工事の子会社を兼ねた別会社として出発しようということになり、会社設立の準備に取り掛かりました。会社設立に当たってはいろいろな方面の方々にお力添えをいただき、無事に設立することができました。

しかしいざ営業となると、それほど簡単ではありませ

んでした。一般廃棄物収集運搬業の許可について、既存業者の激しい抵抗もありいろいろ苦労しました。しかしこれもまたいろいろな方々のお力をお借りして、何とか旧東頸城三町村（大島・浦川原・安塚）での一般廃棄物（し尿）収集運搬の業務と浄化槽の維持管理業務の営業を始めることができました。また平成12年には在宅介護も始めましたが、なかなかうまくいかずに、現在はその業務は休業しているところでございます。

その後、市町村合併に伴い紆余曲折もありましたが、農業集落排水処理場の維持管理委託業務（安塚区）、浦川原浄化センター施設管理委託業務（浦川原区）、一般廃棄物（ごみ）収集運搬委託業務（大島・浦川原・安塚三区）を上越市より受託することができました。

それと同時に、新潟県の産業廃棄物収集運搬の許可取得と営業開始、民間企業を対象に事業系一般廃棄物収集運搬業務も開始し、現在では、旧市内のアパートごみの収集も開始したところでございます。

その他に、12～13年ほど前から下水道の管路調査業務も開始し、平成20年5月には最新鋭のカメラ調査システムを導入し、今の形になるまでに4年ほどかかりましたが、平成22年に上越市内の同業4社で「上越市管路調査協会」を立ち上げ、現在6社の会員で活動しているところでございます。

こうして25年間を駆け足で振り返ってみますと、現在の㈱環境サービスがここに存在するのは、今までいろいろな場面で、タイムリーに、素晴らしい人との出会いがあり、その方々の善意、ご協力、ご支援の上に成り立っているのだとつくづく感じました。そして今日までお世話になってきた、全ての方々に心より深く感謝を申し上げる次第でございます。

そして、これからも㈱環境サービスは、しっかりと現実を見詰め、常に新しいことにチャレンジしていく、企業でありたいと思っています。加えて、地域社会に貢献しながら発展していくことこそ、これまでお世話になってきた方々への恩返しにつながるものと確信しています。

これからも「地域に根ざした、人の生活に密着した環境企業」を目指す㈱環境サービスをよろしく願いいたします。

結びに、還暦を迎えこれからまた新しい一步を踏み出そうとしている㈱郷土建設藤村組が今後70周年、80周年、そしてすばらしき100周年を迎えることができますように、共に歩み続けるグループ企業としてお祈りをしながら、この挨拶を結びたいと思います。

このたびは誠におめでとうございます。



創業当時の思い出

□平成25年11月30日(土)午後3時半～午後5時10分
□於:本社3階 中会議室

□参加者:山崎文夫(飯室)、北澤政行(有島)、渡辺信一(切光:上越市)、藤村敏雄(上岡)、小竹(竹内)米子(有島:上越市)
藤村博俊(代表取締役)、梅澤隆昭(専務取締役)

OB 会の世話役をしていた藤村敏雄さんから

「仕事の都合で小竹(竹内)米子さんが遅れる」という報告があり、会が始まりました。

社長：今日は月末・週末のお忙しい中、皆さまにお集まりいただきまして、大変ありがとうございました。お集まりいただきましたのは、当社が新潟県へ業者登録したのが昭和29年1月26日でありまして、来年の1月でちょうど60周年に当たります。創業当時の古いことになりますと、私の知らないこともあり、創業当時を知る皆さまからお集まりいただいて、年表みたいなものを作って記録にとどめたいと思っています。そんなことで皆さま方にご無理を言ってお集まりいただきました。忌憚のない、座談会みたいな形で当時のことを思い出して、いろいろなことをお話し願えればと思っています。

本日は大変ありがとうございます。

梅澤：いま社長の話にもありましたが、ざっくばらんに話していただき、まだどういう形になるか定かではありませんが、できれば記念誌みたいな形にまとめたいと思っています。その中でこの座談会の内容も編集者と相談しながら、記念誌に話の内容を盛り込んでいきたいと考

えています。先代の社長四郎さんが創業した近辺のことから思い出してもらいながら話していただきたいと思います。創業から60年ということで最後のチャンスかと思えます。よろしく願いいたします。

山崎：ご期待に添えるかどうか分かりませんが、忘れてしまっていることも多いので。(笑い)

社長：工事の経歴書を見ると昭和33年頃から記録されているんです。みなさん分かるのは何年頃になるんでしょうか？

昭和30年代、40年代くらいですかね。敏雄さんは何年頃に入られたんでしょうか？

敏雄：私はこの中では一番遅く、高校を卒業してからですので、昭和41年の4月だと思います。

北澤：この中で一番古いのは山崎さんだ。

社長：ボールペンと寸志(交通代)です。このボールペンは先日11月1日に新潟県の優良工事表彰を受賞しましたが、私の

代になって10回目ということで記念品として作りました。皆さんに差し上げますのでお使いください。

過去の工事実績を見ますと、渡辺さん記憶ありますか、昭和36年頃先代が切光の地滑り工事(久江峰:クエノミネ)を受注して、その時最初に渡辺さんの家をバイクに乗って訪ね、地元の様子を聴きに行ったそうなんです、その辺のこと分かりますか？

渡辺：250のバイクで。

社長：現場も何も分からない状態で現場に行ってみて、渡辺さんの家に最初に飛び込んだと聞いている。

そんな関係で渡辺さんの家を「飯場」に借りて、釜淵の原さんたちが泊まり込んで仕事をしたと聞いている。

渡辺：山田さん(三和村末野)もいた。保倉川の橋を渡ってすぐ左の家だった。

社長：山田さんは先代の前の藤村半次郎さんがやっていた頃の若い衆だった。それから頸城村花ヶ崎の大滝さん、一時世紀建設の下請けをしていたと聞いている。この大滝さんから蛇籠詰めの仕事に2週間くらい来てもらったことがある。釜淵の川で仕事をした時に来てもらい、蛇籠のやり方を教わった。

山田さんは半次郎さんの子飼いの若い衆で、酒を飲んだ時の武勇伝を聞いたことがある。

山崎・北澤：そうそうそうだった。

梅澤：山田さんが酔っ払って杯を食べたという話を聞いた覚えがあるが。(一同笑い)

社長：ガラスを食べるのはまだ血が出るから分かりやすいが、生のお茶の葉を飲んだ人がいたそうで、これは腹を壊して大変だったと聞いたことがある。

渡辺：コップをかじったのは山田さんだったと思う。

山崎：あの頃はみんな酒を飲むと勢い良かったからな。(一同笑い)

北澤：日向の藤橋さんは「酒を一杯飲むと大島線(現在:国道253号)が狭くなって困る」と言っていたものだ。(一同笑い)

社長：藤橋さんは頭の良い人で理屈で説明するんだけど、昔からの建設作業員で短気な今熊の秋山さんたちには気合を入れられていたそう。

山崎：藤橋さんの講釈はすごかった。

社長：敏雄さんが入られたのは、県道の杉坪の入り口辺りを改良していた頃ですか？

敏雄：いや、入ってからしばらくしてだった。入った頃は切光でボーリングしていたし、真光寺の大門地滑りとかしていたと思う。



北澤：切光は何年もかかったろう。

社長：何年もやっていた。

渡辺：パイル打ちだけで3年やっていた。その後、水路をやった。

社長：昔のパイル打ちは索道なんてなくて、「一本坊主」だった。パイル1本打つたびに足場を移動しなければならなかった。この移動の時は人足が必要で、集落中総出で男衆20人くらいかかって移動したものだ。ウインチで竿の下を引っ張って、皆で倒れ防止のハズを緩めながら竿を倒さないようにして引っ張ったものだ。その時の写真がある。

渡辺：俺もその写真分かる。四郎さんの仲人になった秦さん(安塚町牧野)がウインチを操作していた。

あの時のパイルは30センチの径で8メートルの長さのもので杭の先は鉛筆型だった。それに4分の1くらいのところに台付を掛けてウインチでつり上げた。

…しばらく杭の作業工程の話が続く…

うまく入らない時は、ウインチで重いものをつり上げてそれを杭の頭に落としながら沈めた。

社長：それはまだ8メートルくらいならそれでもできるが、当時20メートルを超える長い杭が入らないと、土かぶり部分を手で掘って、切断していた現場もあったようだ。

※注1：社長高校時代の切光飯場の話

社長：昔の機械はTGS、そのあとがTHSになった。

…しばらく削孔機の解説が続く…

渡辺さんはその昭和37年頃から入ったのかね。

渡辺：37年だったか、その時分家にいて近くに現場があると使ってもらった。最初の水路を施工する時、セメントを運んだり、砂利は長壁自動車の車で降ろす時は人力で降ろしていた。

社長：その時分はまだダンプがなかったかな、山崎さんから来てもらった時は、6トンの平ボディでしたかね？最初の車はジュピターだったよね。



三菱ジュピター

山崎：最初そうだね、ジュピター。

社長：それが最初の車だと思うんだ、ジュピターの4トンくらいかね。

山崎・北澤：2トン。

渡辺：その後ジュピターの3トン半、守谷のオヤジや井

部和正（浦川原村上岡）さんが乗っていた。

山崎・渡辺：フソウの4トン車もあった。

社長：その後いすゞ、一番最後はTDの8トンだと思うけど、その前に6トンの平ボディがあった。



トヨタダンプ

北澤：その前にトヨタのダンプがあったな。

社長：それはちょっと分からないな。姫川まではみなさん行きなつたでしょう？

全員：行きました。沈石取りに。

山崎：沈石もそうだったけど、あの当時能生の近くで地滑りがあって、鉄道が止まってセメントをデンカまで何回も取りに行った。あの頃は1日1回だった。

北澤：あの頃いすゞの6トンのロングボディで行ったんじゃないかな。



いすゞトラック

山崎：いすゞだったな。

社長：何年頃だったかね、昭和40年頃かな。

敏雄：俺が入った頃には既にあったよ。

北澤：いすゞの8トン車に乗っていた。山崎さんも乗っていた。

山崎：そうTDね。

社長：敏雄さんが入った頃、真光寺の川端の前で堰堤工事やっていたかね？

敏雄：やっていた、谷の奥でも堰堤をやっていた。

渡辺：沢田さん（安塚町和田）がやっていた。

社長：その頃という横住の寺橋もやっていたね。子供の頃オヤジ（先代四郎）に連れて行かれた。夜中に皆でピックで掘っていたのを覚えている。

北澤：その後、海平橋もやった。

社長：オヤジが昭和43年2月頃に病気で倒れたと思う。その頃、海平橋をやっていたんじゃないか？

敏雄：そうだったかもしれない。

社長：古いピアを解体していて、オヤジのフローリアンと一緒に見に行つてピアを倒したのを見た。沢田さんが親方でドーンと倒れるのを見た。



フローリアン

渡辺：あの時真ん中のピアを倒すに、俺がバイタ（太い丸太）をブルで押して倒した。

社長：その時には病気でオヤジは倒れた後だった。春だったのかな？ 冬は休んでいたと思うんだ。皆さんが分かるのは海平橋くらいが最後でしょうか？

渡辺：あの時初めてバックホウを買ったんだ。10Hだったかな。



有島の高谷川

社長：Y35だったと思う。買ったのは有島の高谷川だったよね。

北澤：そうそう高谷川をやってから海平橋へ行つたと思う。

社長：そこでユンボを埋めてしまったんだよね？

北澤：そうそう、埋めたなんてもんじゃない。あの頃のキャタは幅が狭かったのですぐ埋まるんだ。

だから引き上げ用にブルを1台持っていくんだ。太いワイヤーでもぶつた切っちゃうんだ。それで完全に埋まっちゃう。（笑い）

社長：この事務所の近くの保倉川の工事でも、あの当時バーチカルというポンプ、10馬力で回すんだ。渦巻き型のポンプで大量に水をくみ出すんだ。あの頃のベルトはVベルトがなく、平ベルトでよほど機械をうまく据えないと、力がかかるとすぐベルトが外れたもんだった。

北澤：その現場の前の現場はもう少し下流で、山崎さんと先代の社長がブルで締め切ったよね。



保倉川横川施工中



保倉川横川完成

山崎：その時締め切りに入った川魚を採ったな。（笑い）



保倉川長走竣工

北澤：その時の現場だったか日特のブルを川の真ん中でバケットを上げたまま流しちゃったんだ。

社長：日特、50S、30Sのブルがあったね。

…この後しばらくブル談議…

社長：ところでこの中で一番古い山崎さんは何年頃に入つたんですか？



日特ブル

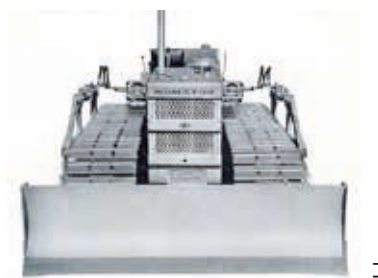
山崎：定かではないんだが、俺は車両の担当だったから、現場の話はいまいちピンと来ないんだ。

渡辺：山崎さんは山本のぶどう園の道を切る時、ブルに乗っていたと思うんだが…。

山崎：あの頃、今の社長が高校生で現場に来ていたと思う。山本の寺の裏で地蜂の巣を取つて親戚のイナバのぼちゃんのところへ持っていったことを覚えている。あの頃西山さん（鍛冶屋のジイちゃん）が棒頭（親方）だった。

社長：俺が日射病になった現場だ。あの現場では後藤組かどこかのブルが来ていたと思うが…。

北澤：そうそう、俺ブルひっくり返したんだ。（全員笑い）



コマツ D50P

北澤：1日待ってくれといったんだが、先代の社長がその日返せということで、武江組のダンプを頼んで載せようとして、ひっくり返したんだ。そこへ巡査がたまたま来たもんだ。なんだかんだ言うんで現場の連中が怒鳴りつけたら、帰っていったんだ。

梅澤：完全にひっくり返ったんだ？

北澤：はあ、完全にひっくり返つて、俺はブルの中に潜ったんだ。バケットタイプだったからね。ひっくり返る時、動きがゆっくりになったんだ、ちょうど隙間に潜り込んで助かったんだ。

梅澤：危なかったんだね。

北澤：一歩間違えば死んでいたね。（一同笑い）

北澤：それからもう一つ思い出があるのはね、山崎さんと2人で印内からローラを高田の寺町まで自走させたことがあって、今のようにアスファルトでなく砂利道だったのでガタガタしてバッテリーが故障しちゃうんだ。それを2回ほど直して夜の8時頃に高田に着いた。

社長：山本のぶどう園の道は昭和42年だから、俺が高1の時だったね。望月建設が元請けで私らが下請けの現場だった。ぶどう園から向こうが渡辺建設だったと思う。

社長：その頃は山崎さん入つて、だいぶたっていたのかね。

山崎：入つてだいぶたつてましたね。

敏雄：昭和35年頃じゃないかな。

山崎：記憶が定かじゃないけどね。俺が入った時には井部和正さんがいたな。

梅澤：そうですか。あの人そんなに古いんですか？

敏雄：その頃、久代さん（後の栄鵬建設社長夫人）はいなかったかね？

山崎：いなかったと思う。事務は竹内米子さんだけだった。

敏雄：俺が入った時には、米子さんも久代さんも事務所にいた。

山崎：新潟地震（昭和 39 年 6 月 16 日午後 1 時）の時の古い事務所の 2 階で昼寝していたんだけど揺れちゃって、下へ逃げて出るのが大変だった。（笑い）

社長：山崎さん松代町の峠へ石を運んだことありますか？

山崎：そういえばあったね。

社長：あの頃松代町峠でも県単の工事をだいぶやっていたんだよね。昭和 39 年頃のことです。

山崎：俺、中学終わって北日本建材へ行って免許取って…。

社長：真光寺の川端の前の堰堤工事は分かりますか？

山崎：分かる。

社長：それが昭和 38 年です。その頃には入っていたということですね。

渡辺：俺も分かる。

山崎：川端の家を宿にして、ブルの運転したのを覚えている。

社長：昭和 37 年にやった法定寺の地滑りの現場は分かりますか。

山崎：法定寺は行った。

渡辺：横尾さんと俺と原のあんちゃと名木山のあんちゃ（吉川町鳥越さん：社長のばあちゃんキクノさんの実家の親戚）の 4 人セットで、南の家を宿にしていた。

北澤：引き揚げる時は雪がモカモカ降って車が動かなくなって大変で、その日のうちにどうしても引き揚げなくてはならないということで、運転手全員が行ってブルで引っ張り上げたが終わったのが夜中だった。山崎さんが一人でブルに乗って帰ってきた。

社長：山崎さん、印内沖の国道（253 号）凍雪害防止工事で、三原田組の切込で道をドブドブにしまった工事を覚えてますか？

山崎：覚えている。

社長：昭和 37 年頃、200 万からの工事で、当時としては大きい工事だった。オヤジ（先代社長四郎）が、事の成り行きで大きい工事をとってしまったと随分と心配していたの覚えている。

山崎：今のセーブオンの辺りからの工事だった。あの頃俺はブルに乗っていた。

社長：その当時はまだ会社にブルはなかったと思うんだ

が…、三原田組のブルでも借りたのかな。

北澤：俺が入った頃はブルは 2 台はあったと思う。俺は丸長にいてブルに乗っていたんだけど、上がりにいつも島屋で飲んでいた。この会社に入ってから島屋で上がり酒を飲んでいたけど。そんな時に先代の社長が今度ブルを買うから会社に入ってくれと声を掛けられたんだ。そんな時に来たのが日特のバケット。

山崎：小松もバケットだった。

北澤：小松のブルは新潟までわざわざ見に行ってきたんだ。日特の押しブルもあった。

社長：印内の時はそのブルがあったかね

山崎：どちらかはあったと思う。

北澤：山ちゃ（山崎）にも正美（竹内）にもブルを教えた。そんな時信ちゃ（渡辺）はまだ本格的には入っていなかった。

渡辺：切光の現場がある時は出ていたが、ない時はこっちまでは来ていなかった。

北澤：日特の押しブルで上岡の分かれ道の川の向こうへ行っただけ、力がなくて土を押せないんだ。

谷の片町へ出る道の時も 2 台で押しても土が動かなくて参ったんだ。それでその時武江組を辞めて個人で始めた松野さんから手伝ってもらった。

社長：その当時の上岡の大きい工事というとタダヤシキの前の仕事じゃないかな。会計検査に当たった。夜中じゅう対応に追われて弁当を持っていったことを覚えている。

敏雄：あの頃、俺はまだ学生だった。バイトでブロック運びした覚えがある。

北澤：俺がやめる頃っちゃいバケットブルを買った。小松の D30S、山ちゃは俺よりも辞めるの早かったから、いなかったかもしれない。

山崎：俺は分からないな。

社長：六日町の倉庫へ入るカーブ辺りで使った。県道の工事で 30S を使った。杉坪集落の上がり口よりちょっと横川よりだったと思う。

敏雄：あの後、上岡で道路改良やったと思う。俺が辞めたあとだったと思う。先代の社長が病気起こしてから上



コマツ D50S



コマツ 30S

岡の改良が始まった。

社長：店の家辺りから始まって、東沢の石積み辺りまでやった時に大型の予算がつき、太陽さんが入った。昭和 44 ～ 45 年頃だったと思う。

社長：敏雄さん昭和 41 年に入った頃、どんなだったですね。津止の法枠のパイル打ちの現場は分かりますか？道上と道下の現場があって、先に秋山弘之さんが道上の現場をやったかと思うんだけど。

敏雄：俺が現場に行った時は下の現場だった。

社長：じゃー、沢田さんが親方だったな。

北澤：雪のあるうちから役所がやれやれということで、横住から道路を除雪した。

社長：あの頃横住の女衆や岩崎武敏さんなんかも来ていたと思う。山が来ちゃって橋桁で土留めして法枠を組んでいる写真を見たことがある。



津止法枠土留め

渡辺：俺もいた。掘割になっているところで橋桁で切り張りをかっていたのを覚えている。ブルで床掘して道がドロドロになった。

北澤：石を運ぶにタイヤにチェーンを巻いて滑り止めにして行った。

渡辺：床掘はブルでして、石入れ、法枠組みはキャリアーを張ってやった。

北澤：その後かね、谷で泊まりがけで高谷線でもパイルやったよ。法枠、川の中で

渡辺：川の下と上でもやった。

北澤：まるっきり谷で泊まりっぱなしだった。

社長：記録見ると谷と津止は一緒の時期だね。昭和 41 年から、あの当方で 350 万と 330 万あった。谷は集落の終わりだった。



S42-9 谷パイル打ち

敏雄：道も大したものはない。

社長：谷も二つ現場があって、道下、堰堤の川の上に法枠組んだだけの現場と、その上流で道下にパイルを打って法枠 2 段積んである現場がある。…しばらく法枠談議が続く…

北澤：直江津の業者へ下請けに出したんだが、ひと月たっても進まなかったんで、秋山さんが親方で入った。

社長：そうすると津止の上の方の現場は岩崎一馬さんか渡辺：岩崎一馬さんと武敏さんがやったと思う。

…小竹（旧姓：竹内）米子さん（通称「守谷の姉ちゃん」で親しまれていた）加わる…



小竹：お久しぶりです。（一同歓声）

社長：お忙しいところありがとうございます。この工事記録、おまんが書いたと思うんだけどちょっと見てくれない。

…小竹さんが持ってきた写真を見ながらしばらくの話…

北澤：（旅行の写真を見ながら）上山田温泉だ。

…古い事務所の写真を見ながら…

小竹：これはさ、最初の倉庫の 2 階。始まった時。



社長：小竹さん、いつ頃入ったんですか？

小竹：厚生年金に入ったのが昭和 37 年なんだけど、その前から入っていた。

…しばし古い工事写真を見ながら雑談…

梅澤：その頃現場の親方はどんな人がいたんですか。

渡辺：秋山弘之さん、釜淵の原義男さん、牧野の秦藤吉さん、西山さん（鍛冶屋の爺）、和田の沢田正一さん。

北澤：山本の道は鍛冶屋の爺がやっていた。

山崎：あそこでもらった酒を飲みすぎた。材木屋が道からユニックで届くところまで、伐採した木をブルで引っ張ってくれと頼まれて、休み時間や仕事終わってから引っ張ってやった。すると次の日の朝酒を持ってきてくれるんだわね。

渡辺：その酒飲んだ。現場に冷たい清水が湧き出している場所があって、その中に朝もらった一升瓶に縄をつけて冷やしておいて昼に一杯やったんだ。

山崎：暑い盛りで、よく冷えた酒を昼にグイグイやったもんだ。暑い時期によく冷えていてうまかったんだ、2 ～ 3 杯やっちゃうんだ。(笑い)

渡辺：そんな社長アルバイトできたんだ。

社長：俺じきに日射病で倒れたんだ。

社長：その頃、横尾春男さんが、真光寺の参道橋の桁を架ける時に 1 トン巻きのウィンチで吊って、酔っ払って

いて、手を挟まれて診療所へ行ったことがあった。

渡辺：あの時ウィスキー飲んでいて、酔っ払ってウィンチ巻きしていて、乱巻きになったワイヤーを直そうとして挟まれた。あの時俺、車持っていたので事務所から横尾さんを迎えに行ってくれと言われて現場に行ったら、現場にひっくり返っていた。車に乗せて診療所まで連れてきた。

社長：昔は昼酒、上がり酒は当たり前だった。

山崎：あの頃の棒頭はみんな酒好きだった。

社長：あの頃は酒の勢いで仕事をしていた面もあった。保倉川で蛇簗を詰める時なんか、酒の勢いで酔っ払ってやっていたものだった。みんな体を壊した。あの頃は「花の友」という合成酒だったと思う。

山崎：合成酒、（頭を指しながら）ここに来るんだ。（一同笑い）

渡辺：頭痛くなるんだ。

山崎：上岡の下の大將、現場終わると島屋で一杯やってて、ここへ入れて誘うんさ。（一同笑い）

…写真を見ながら、ブルの話ひと時…

敏雄：熊沢の橋、集落入ってすぐ右の橋。

社長：あの橋、後から葦和土建が架け替えた。その前の橋で上が木橋で下がコンクリートだったのを壊したという話を聞いた。

敏雄：確かあれは生コン打ったら膨らんで、ダメだということ倒した。ハッパかけたと思う。

梅澤：失敗してやり直したんですか。

敏雄：型枠が膨らんじゃったんだ。

小竹：あの頃はシャバ中（そこら中の意味）やっていたわね、この近辺。

社長：その時分は、他の土建会社といえば武江組さんと頸城運送さんくらいかね。

小竹：そうだね、まだ隣はやっていなかった。厚生年金に入らないと入札にも影響するという事で厚生年金に入った。先代の四郎さんが忙しい時は私に入札へ行っ来ていと言われて、よく新潟まで入札に行った。武江の池田さんとかと一緒にだった。

敏雄：武江組の太田さんと入札一緒だったことがある。入札室は古かった。

梅澤：敏雄さんは工務で入られたんですか？ 今でいう技術屋さん。

敏雄：高校卒業でまだ技術もない、雑用係さ。

渡辺：写真撮りしてもらっていた。

敏雄：横住の横山さんと一緒に。

梅澤：今でいう技術屋さん。

北澤：主に写真撮り専門で、現場へ行くと材料が間に合

わないとか言われて叱られていた。(笑い)

社長：まだ学校終わったばかりで、叱られてばかりでかわいそうなものだった。良かったのは杉坪の現場で酒飲まされすぎて、酒やめたこと（笑い）、三日ぐらい寝込んだという話。誰に飲まされたんだね

山崎：沢田さんだ（笑い）、土工事で雨が降っちゃうと仕事にならないから、一杯さ。ちょうどそんな時に敏雄さんが来たもんだ。調子よく飲んだんだ。(笑い)

北澤：それが酒飲むの初めてだったんだ。

渡辺：1 リッターくらい飲んだんじゃないか。(笑い)

山崎：それから 3 日くらい寝込んだんだ。親父さんから電話来て怒られた。

敏雄：1 リッターのビン、1 人 1 本ずつ飲めというんだ。

渡辺：飲めなけりゃ、全員の分払うんだと脅されて…。敏雄さん飲み終わるとパターンと倒れたんだ。(笑い)

社長：急性アルコール中毒かね。

敏雄：そこまではいかなかった。夕方やっとバイクを押して家まで帰ったんだ。

社長：月子さんもその頃だったかね。

敏雄：同じ頃で、俺よりも先に辞めた。

山崎：酒飲んで、車落したりいろいろあった。姫川の根知に石採りによく行った。最初は手で積み込んだけど、途中から新進のブルで積んでくれた。

梅澤：根知ですか、今年縁があって根知の水路補修を下請けすることになっている。当時は遠かったですね。2 時間ぐらいかかったでしょ。

山崎：半日仕事、1 日 2 回だった。

小竹：昭和 42 年に会社辞めた。その後久代さんが事務をしていた。

社長：先代が倒れたのはその後昭和 43 年の冬だった。俺 46 年の春からだから、倒れたのは高校 1 年の時だった。オヤジが数えて 43 歳の時だった。

…しばし、いろいろな話が交錯…

梅澤：そうすると、その頃は随分人もたくさんいたんですか？ 人送はトラックの荷台に折り畳みの座席とホロのついた車だったのを覚えているけど。

山崎：それで慰安旅行も行ったもんだ。俺と寺山（井部和正さん）が運転して行った。向こうへ着いた時分は、俺たちはいいんだけど後ろに乗っていた人たちは砂利道のせいで、ほこりだらけになったもんだ。

みんな酒好きだから中で一杯やってるんだけど、ほこりが巻き込んできてせっかくの良い着物も台無しさ。（一同笑い）

梅澤：先代の社長はどんな様子だったんですか。



松之山、陵雲閣へ慰安旅行

北澤：最初はバイクで、そのうちジープに乗って現場周りしていた。時たま人送でジープとられていたな。(笑い)



三菱ジープ

渡辺：250CC のバイクだった。秦さんは 125CC、横尾さんは 50CC のバイクだった。釜淵の原さんも秋山さんも 50CC のバイクだった。

北澤：棒頭は後片付けもあったから、みんなバイクで現場へ行っていた。

山崎：あの頃、先代の社長は地下足袋だった。

北澤：長靴なんかなかったからね。地下足袋で川に入っ、みんな水虫になっていた。(笑い)

仕事のない時はブルに三人で乗ったこともあった。坪野の掘割を押した時もそうだった。

山ちゃん俺と舟波さんだったか。

山崎：そうそう、硬い土で山の上の方から押した。シェルの向かいのタバコの集会所造成の時も何台かのブルでやったけど、オペによって差があった。三原田のダンプで土を運んで埋め立てた。そんな時に小竹さんがブルで来て、それが縁で米子さんを連れて行ったんだ。

社長：敏雄さん入った頃は事務所はどこでした？

敏雄：脇に小さい事務所があった。

社長：小竹さんが持ってきてくれたこの事務所ですか、昭和 38 年と書いてある。

S38 事務所前で
竹内米子

敏雄：柳の木の下この事務所だった。俺が入った頃は建ててから時間がたっていたと思う。西側に倉庫があって東の方にちっちゃい事務所があった。

社長：その後に東側のでっかい倉庫を建てた。小学校か何かの合掌を利用して建てた。

北澤：俺が来た時には倉庫も事務所もL（エル）の字の形であった。事務所の前に柳の木があった。

敏雄：俺がいるときにでっかい倉庫を建てた。

社長：あれを建ててからダメになった。家相から言っても東の方に大きな倉庫を建てたらダメなんだよね。北には一番高いものを建てて、東にはそれより高いものを建ててはダメなんだよね。あの時分は勢いもあったから関係なしで建てたんだろうね。建って間もなくで倒れたんだよね。

敏雄：建って間もなくだった。

社長：（工事経歴を見ながら）あれを建ったのは昭和42年の5月だね。その翌年の冬には倒れたんだ。その頃は建築も始めていて磯貝モータさんもやらしてもらった。…小竹さんが持ってきた古い写真の見ながら雑談…

梅澤：小竹さんが事務員第1号ですか？

小竹：そうだね、私と先代の社長と2人で事務所をやっていた。

梅澤：先代の社長は会社つくるからといって米子さんを頼みに行ったのですか？

小竹：そんな正式なものじゃないんだわね。

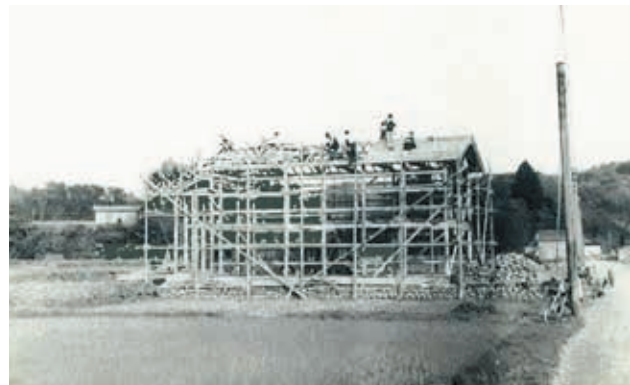
社長：守谷の母ちゃん（米子さんの母親）が仕事に出ていたんだ。

梅澤：俺、守谷の母ちゃん分かる。高校生でアルバイトした時一緒に働いた。男勝りのすごい人だった。

小竹：母ちゃんが来てて、四郎さんが姉ちゃん（米子）なんだったら来てもらいたいんだけどと言われ…。

社長：そもそもセンカジの前に藤村半治郎が「藤村組」をやっていた。その後半治郎さんが飯室へ移る、番頭さんがお金を持って逃げるなどいろいろあって、会社を閉めることになった。四郎さんが後始末をして、今度は自分で商売を始めるということで、昭和29年の1月に新潟県の登録を取ったんだ。

けど、その時に同じ下保倉村に「藤村組」が二つできないということで頭に「郷土建設」を付けたということだ。その時にセンカジのところが事務所だったんだけど、土木事務所から電話が来ても誰もいないわけだ。それで事務所を建てなくてはならないということで建ったもんさ。そんな時に電話番号で来てくれということで「守谷の姉ちゃん（米子さん）」から来てもらった。



最初の事務所建前



建前時集合写真

小竹：その前から母ちゃんが藤村組へ行っていたからね。センカジの家の前に事務所があった。

その頃はすごい景気が良くて、直江津の花火だといえどトラックに皆を乗せて連れて行ってくれたものだ。

山崎：俺が入る前だな。

社長：半治郎さんも上岡の家から出てるんだ。上岡の隠居（屋号）2代目藤村久松の兄弟が半治郎と栄治郎だった。（資料家計図参照）栄治郎はマルケイの整備屋をして辞めて農機具屋になった、ヤンマーのエンジンを直すのがうまかった。半治郎が土建業をやった。

※注2：藤村英雄さん（栄次郎さんの息子）の話

山崎：半治郎さんだって一時景気いい時があったんだ。それが良すぎて道を踏み外しちゃった。

社長：半治郎さんの時代には、武江組さんがあったぐらいで、他の会社はこの辺ではなかったと思う。

小竹：顕聖寺で池田の家がやっていた。

社長：池田の家へ釜淵の原さんと守谷の母ちゃんが一緒にやっていて、池田の家が調子悪くなって、2人が当社に来了。

山崎：あのままうまくやっていたら大したものになっていたと思う。

…ここからしばらく昔の建設作業員の話…

北澤：この社長は最初はどこにいたもんだね。

社長：経歴書によると大正14年11月20日、東頸城郡安塚村牧野に高波家の男3人兄弟の末っ子として生まれ、安塚の尋常高等小学校を卒業してから、昭和15年4月に東京の芝区役所に2年ほど勤めて、昭和17年3月より東京市の村上組に入って現場作業をしていた。

3年後の終戦の年昭和20年2月に軍隊へ服務し、同年9月に終戦で郷里へ一度帰って、翌年の昭和21年4月から県内でも大手の糸魚川町の白沢組に現場監督として2年ほど働いた。

その後昭和23年7月から中魚沼郡の株式会社大和建設信濃川発電工事事務所に現場監督として1年勤め、昭和25年1月に上岡の藤村家へ婿養子に入ったこともあり、昭和25年4月より半治郎さんの藤村組に入り、昭和29年1月26日の郷土建設藤村組創設まで勤務していた。

梅澤：大池の水門の六角の塔の裏にオヤジの名前が書いてあると言われて、高校生の頃ボートに乗って見に行っていたことがある。4～5人の名前の中に「白沢組 現場代理 高波四郎」の名前も刻まれていた。（その後の改修工事で名前は消されたようだ）

社長：白沢組は当時県内大手の会社で、大池の改修工事を鹿島建設と白沢組のJVで請け負った時の現場代理人だった。その時の下に秋山弘之さんや花ヶ崎の大滝さんや末野の山田さんなんかいたわけだ。でっかい堤防を割って底のヒューム管を入れる段階になって100人いてもうまい段取りが決まらなかったそうで、夜中に秋山さんたちと何人かでバタ角を敷いて転がそうということになり、失敗したら夜逃げする覚悟でやったらうまくいったということだった。

その時、護岸工の親方がのちの大陽開発を起こした荒木清良さんだった。余水吐をやっているのが横田ショウエイ（元頸城建設専務）さんだった。それぞれ100人くらいの人を使って仕事をしていた。白沢組は敗戦のあとを食って倒産してしまった。

保倉川の川倉の締切なんかは糸魚川の大きい川で経験済みだったから驚きもしなかった。川倉を組むとき水の当たる所にネコというのを当てたが、真光寺の女衆がそれを組むのがうまかった。川倉の裏には最初は蛇籠だっ

たが、そのうちブルで土砂を押して流れないようにしていた。横川や菱田堤防の現場でも川倉を組んだ。（川倉の写真参照）



川倉とポンプ排水

梅澤：それでは時間になりましたので、そろそろ場所を変えて続きの話を聞きましょう。

社長：今日は貴重な話を聞かせていただきありがとうございます。次また場所を変えて、和やかなうちに話の続きを聞かせていただきたいと思います。本日は大変ありがとうございました。

…この後、場所を「新装なった店の第1号のお客として」創業時事務所のあった有島商店街の割烹小山に移し、にぎやかに懇親会を行う。2時間後会を締めて社長と梅澤は退席するも、名残を惜しむOBさんたちは引き続きの盛会となった。…

※注 1：高校時代、切光飯場の話

俺が高校2年の時だった。同級生を中心に12～13人で飯場に泊まり込んで工事をした。現場は切光で水路工事と杭打ち工事だった。飯場はその年の春に空き家になった切光集落の「豆腐屋」さんの家を借り、食事は祖母のキクノさんが作ってくれた。3食宿泊付きで1日1,000円のアルバイト代だった。夏休みの間中アルバイトをしていたので40日くらい稼ぎ4万円ぐらいになった。その金で修学旅行へ行行ったが十分すぎる小遣いとなった。

工事は先に水路工を完成させ、その後パイル打ちのための索道を盆前に仮設した。この時危うく死亡事故を起こす出来事があった。その日はちょうど親方の横尾春男さんが旅行で不在の上、副親方の鳥越さんも所用で不在だったので、俺が親方になってその日の作業することになった。



作業は17メートルくらいある二俣建てであった。チリホールで二俣の上部につけたワイヤーを引っ張ってだいぶ起き上がってきたので、俺が上部のワイヤーの状態などを確認するために二俣のてっぺんに上がった時、突然ワイヤーが切れた。(後で考えると、かかる力に対してワイヤーの径が細かったのだと思う)

倒れる二俣の上部にいた俺はゆっくり倒れる二俣から、途中で横の小杉の木に飛び移り助かった。一方チリホールで引っ張っていた仲間も、倒れる二俣の横棧に使用していた足代木とチリホールを取り付けていた大杉の間に挟まれそうになったが、幸いなことに足代木が細かったため足代木が折れ、これもけがは免れた。一步間違えば俺も仲間も大けがをしていた可能性があった。今考えてもゾーとする。

パイル打ちの削孔機械は、金谷新太郎商店の大越さんから利根ボーリングのTHSをほとんど無償で借りていた。(この当時当社にあった削孔機械では施工能力が不足だった)

夜中交代で掘って(徹夜ではなかったが)、朝明るくなるのを待ってパイルを建て込んだ。うまく入らない時は、次のパイルをハンマー代わりに使いウィンチで巻き上げ打ち込んだ。夏休み中にはパイル打ちは完了しな

かったが、残りは横尾さんと鳥越さんたちが完成させた。

その他にも3年の頃は、既に役所に入出入りするようになり、休みを利用して高校生のアルバイトを中心に横住の県道道路改良工事等を施工した。

【工事情報】工事名：地第31号漆原地滑り防止工事 工期：昭和44年5月25日～10月15日

※注 2：藤村英雄さん(栄治郎さんの息子)の話

先代四郎さんの養父藤村久松の兄弟半治郎(4男)と栄治郎(5男：英雄の父親)が大阪へ働きに行き、そこで所帯を持った。俺も大阪市で生まれた。両家族は昭和20年(終戦の年)になり空襲の激しくなった大阪から郷里に親戚を頼り疎開してきた。半治郎家族は姉コエシの嫁いだ山本的美濃輪秀二さんの家に、栄治郎家族は実家の上岡・隠居の家へ世話になった。

戦争が終わり、現在の飯室の保倉川橋の手前に朝鮮の人で保倉川の砂利揚げを生業としていた「ミツイ」さんという方が引き払うという話があり、その商売を半治郎さんが引き継いで、俺たち栄治郎家族と2家族でその家へ入ることになった。俺の父親の栄治郎はマルケイの整備工場へ勤めた。そのうち生活も落ち着いてきたので、栄治郎が現在の藤村製作所の所に家を建て、会社勤めの傍ら家で鍛冶屋(今でいう修理工)も始めたんだ。俺(英雄)はオヤジがマルケイを辞める前から、学校を終えるとすぐ「藤村製作所」として農機具の修理・販売を中心とした商売を始めた。

半治郎さんの方は保倉川の石を機械(クラッシャー)で割り砂利を作り、その砂利で商売をしていた。現在の浦川原区の入入口(保倉川橋)から国道253号に初めて砂利を敷いたのは半治郎さんだった。その後、有島商店街の一角に小さな事務所を構え、初代藤村組として商売をしていた。(続きは本文)

昭和43年2月に四郎さんが直江津で飲んでいて倒れた時、栄治郎さんに連絡が入り、近くにいた関係で最初に駆け付け病院に連れて行ったと聞いている。その後の四郎さんの苦境(若い衆が次々と会社を離れ、銀行に追い詰められ、建てたばかりの大きな倉庫を手放していく様子など)は親戚として俺はずっと見てきている。…以下話は延々と続いた。

(平成25年12月17日：梅澤が書き留める)



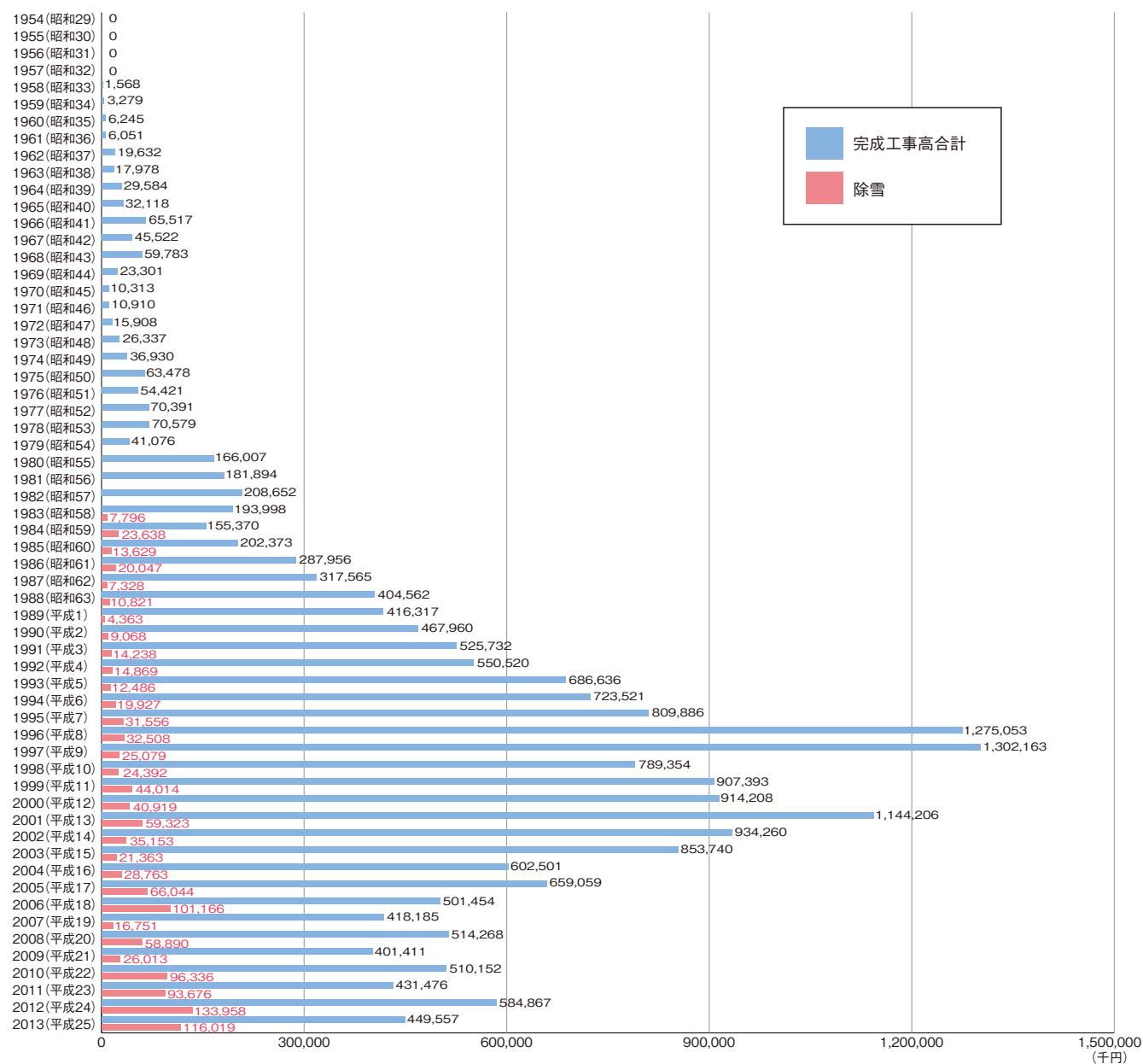
創業当時の法被



60周年記念慰安旅行大宴会にて役員に送られた前掛け

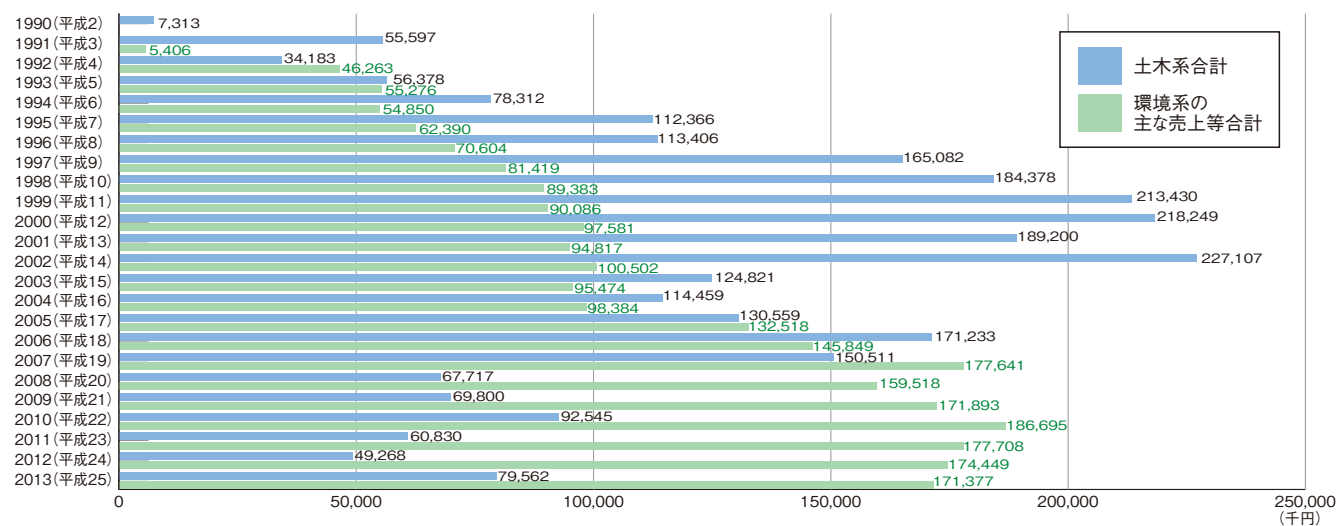
完成工事高と除雪売上高推移

(株)郷土建設藤村組



完成工事高と環境系売上高推移

(株)環境サービス



除雪事業の推移

- 平成26年1月16日(木)午前10時半～午前11時
- 於:本社2階
- 話:藤村博俊(代表取締役)
- まとめ:梅澤隆昭(専務取締役)

【除雪の始まり】

昭和 40 年代後半から除雪委託業務に参入したいと思い、いろいろな人をお願いしたり、除雪について勉強をしていた。そんな折、昭和 54 年の除雪について、当時の浦川原村建設課長の村松智さん（その後浦川原村村長になる）から、冬期間除雪を手伝ってくれないかという話があった。その当時、主な浦川原村の建設業者で除雪業務に携わっていないのが当社だけだったこともあり、声がかかったものと思う。この頃は雪も多く降ったが(昭和 49 年～昭和 53 年)、浦川原村の除雪体制は、冬季臨時オペレータと建設課職員を中心とした役場職員で対応しており、ちょっと多く降ると人手不足になり過重労働になっていた。この打開策として当社への依頼があった。昭和 54 年には当時専務だった私（藤村博俊）を先頭にして主な男性社員は交代で浦川原村除雪に協力することとなった。

それ以降、冬になると 10 人くらいの社員が浦川原村の除雪に出向した。その当時の浦川原村の除雪体制は、冬季臨時雇用のオペレータと当社の社員、そして役場職員の混成部隊で数年間対応した。(昭和 55 年、56 年も豪雪となった)

それ以後も藤村春義さんと秋山剛君を中心に冬期間役場除雪出向が続いたが、何年か経過するうちに、本業である土木工事の追い込みの最盛期になる 11 月中旬頃に

なると、役場から除雪体制編入の声がかかり、春先除雪等で翌年の 4 月になってもなかなか本業復帰できない弊害が生じてきた。そのことに加え、冬季役場出向時の会社負担分社会保険料が会社持ち出しになるという問題もあり、冬季役場除雪出向は 2 人にした。

昭和 56 年になり、この地域の除雪体制は大きく変わるようになった。それ以前新潟県安塚土木事務所が直接除雪していた路線を民間委託するということになり、新たに民間委託されることになった国道 253 号と新潟県直轄県道および町村委託県道の除雪担当会社を協議する会議が昭和 56 年の夏頃に開かれた。それまでの国道 253 号除雪は新潟県の運転手および冬季雇用の運転手が行っており、借り上げでは後に倒産してしまう長壁組が大型の TCM タイヤショベル等を使って除雪しており、実績では長壁組さんだったと思うが希望が出されなかった。

国道除雪については 2 社から希望があったが、協議の末「一年の暫定」ということで頸城建設さんが担当することに決定し、それまで頸城建設さんが担当していた県道名木山線が当社の除雪担当路線ということになった。

この時の再配置で蓑和土建さんは菖蒲⇒平方、大陽開発さんは平方⇒安塚の奥、大島は武江組さんというほぼ現在の分担になった。当初は「一年の暫定」という話であったと思うが、今日に至っている。

いよいよ新潟県除雪委託の話が決まったので、タイヤショベルを買うことになり「材木屋で使っていた」TCM75Bを750万円で購入したが、後で聞くと当時の相場より高く買わされてしまったようで、このことを知る一部の関係者が浮いた金でドンチャン騒ぎをしたという噂を聞いた。このタイヤショベルとスタンダードキャタピラの小松D50Aのブルドーザの2台で除雪することになった。最初の年の昭和56年は豪雪となった。その後も昭和59年60年61年と3年連続の豪雪が続き、雪の多く降る名木山線の道路除雪は困難を極めたが、社員一丸となって昼夜交代で路線を確保した。この時の教訓がその後の当社除雪に生かされることとなった。

【名木山線からの横住・谷方面への配置替えについて】

横住・谷方面の県道は当初、新潟県の委託を受け村道と一緒に浦川原村役場が直営で除雪をしていた。先ほどの話にあったように昭和56年以降は、当社から冬期間出向しこの路線の除雪作業も行っていた。

降雪量の多い名木山線において、記録的な3年連続豪雪を乗り切るといふ実績を積んできたこともあり、地の利のある月影地域の県道除雪委託を各方面へお願いしていた。

機が熟し、昭和63年の除雪会議において、名木山線を返上し、月影方面の県道（坪山ー津止、横住ー高谷）除雪を担当することになった。この時の除雪機械は、TCM75Bのエンジントラブルによる買い替えで、前年（昭和62年11月）にコマツのWA350（3101）に変わっ

ていたが、新たに同機種のコマツWA350（ナンバー：3381）を昭和63年11月に購入し、このタイヤショベル2台で月影方面の県道除雪を行った。この段階では月影方面県道は当社、市道は浦川原村役場直営という体制だった。その後時代の大きな流れとして、除雪作業の民間委託が進み、この月影方面市道除雪も当社が担当することとなった。

月影方面に変わった最初の年（昭和63年）は、除雪のオペレータだった蓑和一夫さん宅前の県道に駐車していた。また除雪宿（食事の支度等）は夫婦で勤めてもらっていた岩崎一馬さんの家をお願いしていた。

昭和64年（平成1年）には横住に待望の大型倉庫が完成し、ちょうどその10月に起業した環境サービスの事務所を兼ね、宿泊施設と修理工場機能を持つ除雪センターとしてスタートした。

民間除雪も平成6年頃から開始し、国道253号沿いを中心に顧客を開拓していった。そうした中、平成9年3月にはほくほく線が開業し、大型機械による除雪が困難な「ほくほく線うらがわら駅」の除雪依頼があり、民間除雪で使用していたWA200（9t級）により下保倉地区の浦川原村除雪委託が開始した。民間委託の大きな流れの中であって、この地域の浦川原村直営除雪路線の民間委託が拡大され、当社は柿野・大栃山線、杉坪線、上岡・東俣線等の市道除雪を担当することになり、現在に至っている。

豪雪状況写真



H 13 年 1 月 大島村菖蒲地内



H 13 年 1 月 半日降雪量



H 17 年 12 月 30 日 浦川原保育所人力雪下ろし状況



ロータリー除雪車作業状況



除雪ドーザ作業状況



H 24 年 2 月 柿崎牧線 追出地内



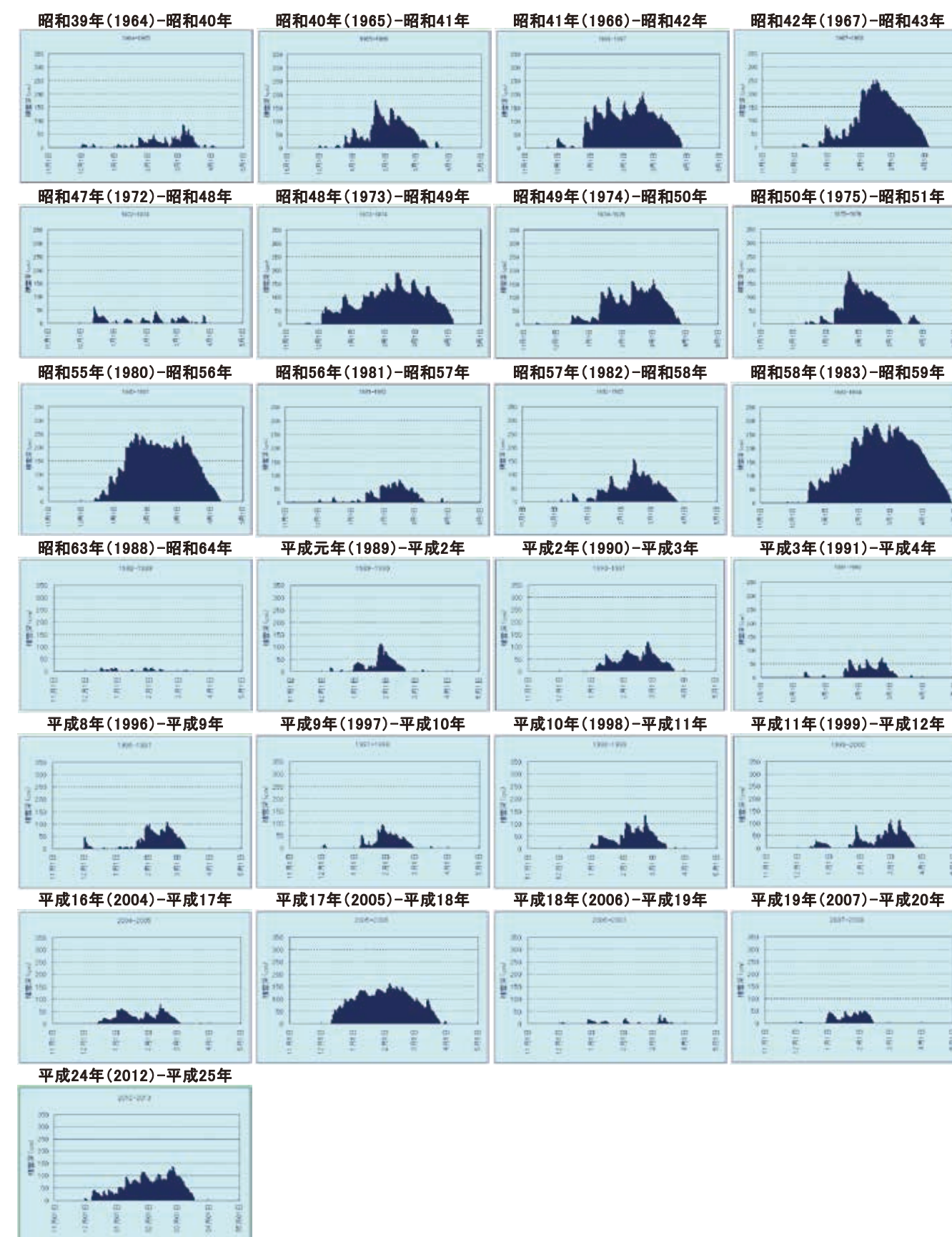
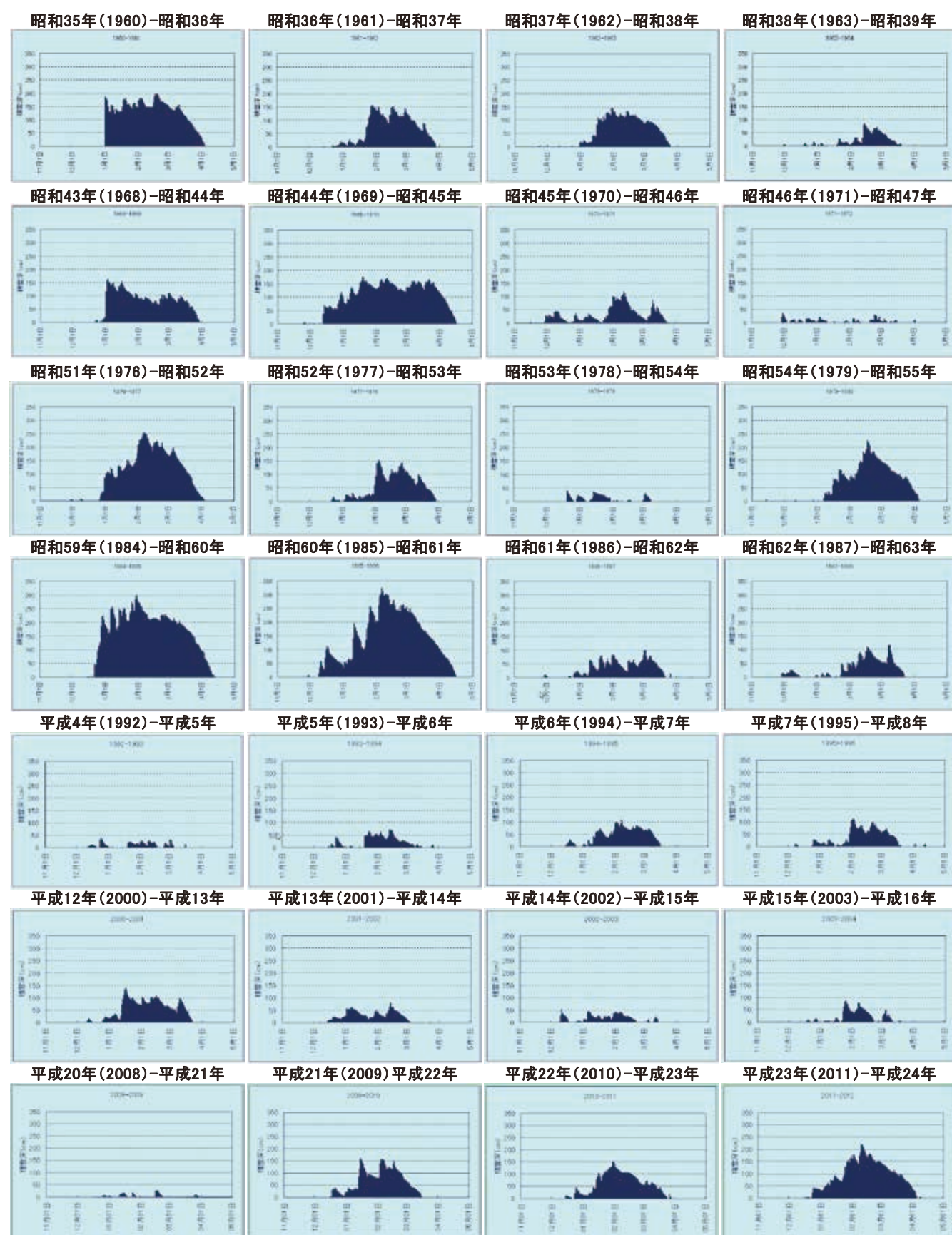
H 24 年 2 月 杉坪倉庫

平成25年度 除雪路線図
(株)郷土建設藤村組

県道除雪	4路線	14.0Km
市道除雪	38路線	31.34Km
市施設除雪		4カ所
民間除雪	21カ所	12事業所

県道除雪	4路線	14.0Km
市道除雪	38路線	31.34Km
市施設除雪		4力所
民間除雪	21力所	12事業所

高田測候所（新潟県上越市高田地区）の積雪記録



新潟県優良工事受賞第 1 号

発注者	新潟県上越林業事務所					
事業名等	復第 124 号					
工事名	復旧治山工事					
工事場所	東頸城郡浦川原村大字菱田					
工期	始	昭和 56 年 1 月 9 日			終	昭和 56 年 3 月 24 日
請負金額（抜）	12,150,000				担当者	藤村勝久
現場代理人	？	主任技術者	？	監理技術者	？	
工事概要	コンクリート堰堤工 L=22.0m V=364.8㎡ H=8.5m					



新潟県優良工事受賞第 2 号

発注者	新潟県東頸農地事務所					
事業名等	ため池等整備事業					
工事名	飯室地区第 62-1 次工事					
工事場所	東頸城郡浦川原村大字飯室地内					
工期	始	昭和 62 年 7 月 28 日			終	昭和 62 年 12 月 4 日
請負金額（抜）					担当者	梅澤隆昭
現場代理人	梅澤隆昭	主任技術者	梅澤隆昭	監理技術者		
工事概要	堤体工 29.0m 波除護岸工 1 式 (A = 721.4㎡) 余水吐工 L=11.29m 資材運搬道路工 L=84.88m					



新潟県優良工事受賞第 3 号

発注者	新潟県上越林業事務所					
事業名等						
工事名	飯室横川線飯室工区林道開設工事					
工事場所	東頸城郡浦川原村大字飯室地内					
工期	始	平成3年5月30日			終	平成3年11月20日
請負金額（抜）	33,300,000				担当者	梅澤隆昭
現場代理人	？	主任技術者	？	監理技術者	？	
工事概要	切取 5,705.2㎡ 盛土 3,406.7㎡ 擁壁工 78.7㎡ 溝渠 3箇所 路面・路盤工 287.8㎡ 安全施設工 1式					



新潟県優良工事受賞第 4 号

発注者	新潟県安塚土木事務所				
事業名等					
工事名	牧横住線地方道路特殊改良一種工事				
工事場所	東頸城郡浦川原村大字真光寺地内				
工期	始	平成4年5月29日		終	平成5年1月3日
請負金額(抜)	38,592,000			担当者	藤村勝久
現場代理人	竹内清	主任技術者	松野直利	監理技術者	
工事概要	延長 L=200.0m W=6.0(8.0)m 土工 一式 下層路盤工 1,593㎡			井桁ブロック積工 180.3㎡	



新潟県優良工事受賞第 5 号

発注者	新潟県東頸農地事務所					
事業名等	農免農道事業					
工事名	上岡地区第 1 次工事					
工事場所	東頸城郡浦川原村大字上岡地内					
工期	始	平成 5 年 7 月 6 日		終	平成 5 年 12 月 2 日	
請負金額（抜）	29,494,175			担当者	梅澤隆昭	
現場代理人	岡国春	主任技術者	梅澤隆昭	監理技術者		
工事概要	路床工 1 式 下層路盤工 1,850㎡ 水路工 一式 分水柵工 11 箇所 L 型法止工 64m 積ブロック工 74.4㎡ 取付道路工 一式 取水工 一式					



新潟県優良工事受賞第 6 号

発注者	新潟県安塚土木事務所					
事業名等						
工事名	顕聖寺地区急傾斜地崩壊対策（公関他・国債）工事					
工事場所	東頸城郡浦川原村大字顕聖寺地内					
工期	始	平成 10 年 3 月 27 日			終	平成 11 年 1 月 10 日
請負金額（抜）	64,831,000				担当者	春日武義
現場代理人	藤村範行	主任技術者	藤村範行	監理技術者		
工事概要	防護柵工 45.0m 防雪工 18.0 基 掘削工 2,610.0㎡					



新潟県優良工事受賞第 7 号

発注者	新潟県東頸農地事務所								
事業名等	県営農地環境整備事業								
工事名	切光地区区画整理 第 1 次工事								
工事場所	東頸城郡牧村大字切光地内								
工期	始		平成 12 年 7 月 11 日		終		平成 13 年 3 月 20 日		
請負金額（抜）	77,638,096				担当者		小島宏之		
現場代理人	渡辺信一		主任技術者		渡辺信一		監理技術者		
工事概要	区画整理 2.45Ha 用水路工 587m 農道整備 413m								



新潟県優良工事受賞第 8 号

発注者	新潟県上越土木事務所					
事業名等	国連改第3-1-0-6号					
工事名	国道253号国道交通連携（改築）工事					
工事場所	上越市浦川原区熊沢地内					
工期	始	平成16年2月18日		終	平成17年3月1日	
請負金額（抜）	139,028,000			担当者	杉本義夫	
現場代理人	杉本義夫	主任技術者	杉本義夫	監理技術者		
工事概要	橋台工 2基 地すべり工 一式 抑止杭工 N=15本 大型ブロック積工 A=124㎡ ブロック積工 A=20㎡					



□新潟県優良工事受賞第 9 号

発 注 者	上越地域振興局整備部					
事 業 名 等	戦略県改第 128-00-00-00 号 主柿崎牧線地域自主戦略交付金					
工 事 名	主要地方道路柿崎牧線拡幅道路改良工事					
工 事 場 所	上越市浦川原区大字横住地内					
工 期	始	平成 23 年 6 月 30 日			終	平成 24 年 3 月 5 日
請負金額（抜）	48,470,000				担 当 者	山本一弘
現 場 代 理 人	山本一弘	主任技術者	山本一弘	監理技術者		
工 事 概 要	(実) 延長 L=169m (有効) 幅員 W=6.0(12.0)m コンクリート擁壁工 本線 L 型擁壁 (H=3.0 ～ 3.5m) 64 m 側溝工 車道部側溝 PU3-300A 151 m					



□新潟県優良工事受賞第 10 号

発注者	上越地域振興局					
事業名等	戦交安第 110-00-01-00 号					
工事名	旧 253 号地域自主戦略交付金（交通安全）工事					
工事場所	上越市浦川原区顕聖寺地内					
工期	始	平成 24 年 8 月 10 日		終	平成 25 年 3 月 15 日	
請負金額（抜）	23,825,000			担当者	藤村 英明	
現場代理人	小山 哲郎	主任技術者	小山 哲郎	監理技術者		
工事概要	歩道工 45.1m	門型カルバート 9.48m	側溝 45.7m	舗装工 1 式		



□優良林業土木工事表彰（新潟県森林まつり実行委員長賞）



発注者	新潟県上越林業事務所			
事業名等	復旧治山 復第43号			
工事名	復旧治山工事			
工事場所	東頸城郡浦川原村大字顕聖寺字大山地内			
工期	始	平成11年1月28日	終	平成11年12月20日
請負金額(抜)	59,371,000		担当者	春日 武義
	現場代理人	藤村 春義	主任技術者	藤村 春義
工事概要	法枠工 1,080.0㎡ 水路工(ベンチフリューム) 72.5 m 暗渠工(横孔ボーリング) 125.0 m 柵工(なだれ防止柵) 9.0 基 柵工(転落防護柵) 44.0 m			



□新潟県上越振興局長 優良工事



発注者	上越振興局整備部			
事業名等	緊急地改第 3-19-00-00 号			
工事名	主柿崎牧線緊急地方道（改築）工事			
工事場所	上越市牧区平方・大月地内			
工期	始	平成 19 年 1 月 24 日	終	平成 19 年 10 月 4 日
請負金額（抜）	39,583,000		担当者	小島 宏之
	現場代理人	小島 宏之	主任技術者	杉本 義夫
工事概要	延長 89.7 m アンカー工（E19+J37=56 本、フレ 56 本 PC フレーム設置のみ 21 基 PC フレーム（スクエア） 46 基支給 植生基材吹付 A=114㎡ 吹付枠 300 × 300 L=91m			



□上越市優良工事



発 注 者	上越市				
事 業 名 等	道交改第 21-3-103 号				
工 事 名	橋梁新設（上部）工事				
工 事 場 所	上越市浦川原区顕聖寺他地内				
工 期	始	平成 22 年 2 月 25 日		終	平成 22 年 8 月 23 日
請負金額（抜）	22,746,000			担 当 者	藤村 英明
	現場代理人	藤村 英明		主任技術者	藤村 英明
工 事 概 要	P C 橋工 プレテンション桁製作工 N=13 本 支承工 19 m 架設工 13 本 床版・横組工 1 式 橋梁付属物工 伸縮装置工 18 m 排水装置工 1 式 地覆工コンクリート工 7 m 3 橋梁用高欄工 30 m				



本社
用途：(株)郷土建設藤村組・(株)環境サービス本社事務所
所在地：上越市浦川原区横川 457 番地 3
建設年：平成 8 年 8 月 8 日
構造・面積：鉄骨造 3 階建て 990㎡
敷地面積 約 2,599㎡



六日町資材置場 敷地面積 約 6,182㎡



六日町車庫棟
用途：大型車両車庫・資材置場（敷地全景は右上写真）
所在地：上越市浦川原区六日町字中山 550-1 他
建設年：平成 14 年新築
構造・面積：鉄骨造平屋建て 347.62㎡



横住格納庫 NO1,2
用途：環境関連車両・除雪車車庫
所在地：上越市浦川原区横住 395-1
建設年：平成 13 年新築
構造・面積：NO1 鉄骨平屋建て 161.50㎡
NO2 鉄骨平屋建て 265.45㎡
敷地面積 約 2,637㎡



杉坪倉庫・除雪センター
用途：土木資材倉庫・除雪センター
所在地：上越市浦川原区杉坪 59-2
建設年：昭和 57 年新築、平成 13 年増改築
構造・面積：木造 2 階建て 540.40㎡
敷地面積 約 4,496㎡

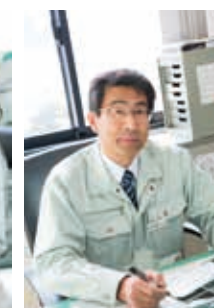
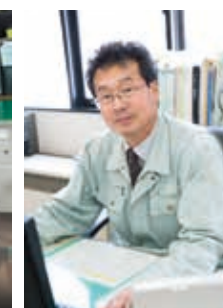


横住倉庫・除雪センター
用途：機械・車両整備、除雪センター
所在地：上越市浦川原区横住 403
建設年：昭和 57 年新築、平成 12 年改築
構造・面積：木造一部 2 階建て 475.20㎡
敷地面積 約 2,056㎡



(株)郷土建設藤村組

(株)環境サービス



代表取締役 藤村博俊

専務取締役 梅澤隆昭

取締役営業部長 春日武義

取締役 藤村英明

代表取締役 藤村勝久

取締役業務部長 春日清隆

区分	車 種	規 格	メーカー	初年度登録	所 属	
					藤村	環境
車 両	セルフ	10t	三菱	H23.6	1	
	ユニック	4t	三菱	H12.3	1	
	ダンプトラック	11t	いすゞ	H9.12	1	
		4t	三菱	H3.4	1	
		2t	三菱	H3.4	1	
	パワプロベスター	7t以上	三菱	H6.4		1
		4t	いすゞ	H4.5		1
	高圧洗浄車	4t	三菱	H8.4		1
		2t	いすゞ	S63.10		1
	散水車	4t	いすゞ	H5.9		1
	ダブルキャブ	ピックアップ	トヨタ	H17,H18,H24	3	
	軽トラック		ダイハツ		6	1
	軽ワゴン	バン	ダイハツ9,スズキ1		3	7
	乗用車				3	4
	塵芥車	6t	三菱2,日野1			3
		4t	三菱			1
		3t	三菱1,日野1			2
		2tダンプ	いすゞ			1
	バキューム	大型	三菱	H9.3		1
		6t	三菱	H25.2		1
		4t	三菱	H9.3		1
		3t	三菱	H12.1		1
	カメラ車		日産	H10.12		1
除雪車両	タイヤドーザー	WA-300(M)	コマツ	H6.10	1	
		WA-350(M)	コマツ	H10.11	1	
		WA-200(A)	コマツ	H6.11	1	
		WA-380(S)	コマツ	H25.5	1	
		WA-380(A)	コマツ	H18.11	1	
		WA-350(A)	コマツ	S63.11	1	
		WA-320(M)	コマツ	H24.6	1	
		WA-300(M)	コマツ	H12.11	1	
		WA-350(A)	コマツ	S62.11	1	
	ロータリー	NTR201	ニッサン	H4.10	1	
		NTR201	ニッサン	H2.10	1	



土木関連車両



特殊車両関連



クリーン課車両



除雪車（杉坪基地）



除雪車（横浜基地）



浄化槽点検車・カメラ車



カメラ車操作盤



カメラ

区分	車 種	規 格	メーカー	購入年月日	所 属		備 考
					藤村	環境	
建設機械関連	バックホウ	ZX-225US	日立	H13.4.25	1		排ガス対策一次
		PC-200-6E	コマツ	H9.3.31	1		排ガス対策一次
		SK135SR-1ES	コベルコ	H17.6.2	1		排ガス対策二次
		SK135SR-2	コベルコ	H23.3.30		1	オフロード法
		SK135SRLC-2	コベルコ	H24.9.19	1		オフロード法
		PC-128US - 1	コマツ	H11.1.30	1		排ガス対策一次
		PC-128UU-1E	コマツ	H11.5.31	1		排ガス対策一次
		PC-120-6E	コマツ	H11.7.31	1		排ガス対策一次
		SK70SR-1ES	コベルコ	H17.5.12	1		排ガス対策二次
		EX60-5	日立	H12.11.29	1		排ガス対策一次
		ZX30U	日立	H16.4.7	1		排ガス対策二次
	不整地運搬車	MST-1100	モロオカ	H8.4.23	1		
		MST-800E	モロオカ	H8.4.23	1		
		MST-600E	モロオカ	H5.6.3	1		
	ブルドーザー	D20PL-7	コマツ	H6.3.31	1		
		D20PL-7E	コマツ	H9.6.26	1		
	フォークリフト	5FD35	トヨタ		1		
		6FD30	トヨタ		1		
		B7FDA50	トヨタ	H25.7.31	1		
		FD35-5	コマツフォークリフト		1		
	振動ローラ	JV-40CW-2A	コマツ	H6.4.5	1		
	1 t ローラ	BW-65S	日本ポーマク		1		
	ブレーカ	TNB-7E	トーク		1		
		H-10	ニューマチック		1		
	筋金君				1		
	クローラ・クレーン	C-505	前田製作所		1		
	大割圧砕石機 (ニブラ)	Vx135	古河ロックドリル	H23.7.13	1		先端歯圧砕力 71.5t



PC-128-US



PC-128UU



SK135SRL



フォークリフト B7FDA50



PC-200



SK135SR



ブルドーザー D20PL

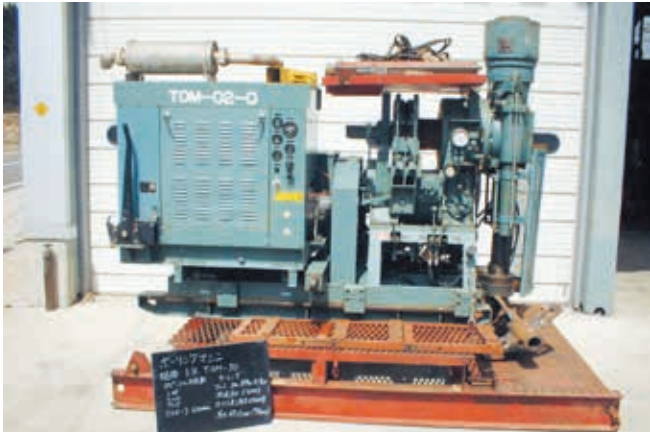


モロオカ MST-1100

名 称	型 式	メーカー	数	備 考 (能 力 等)
高圧洗浄機 (ジェットックス)	DBJ-1538SSM	デンヨー	1	圧力 :150Kg/cm2 水量 :88L/ 分
高圧洗浄機	HWV-1175	洲本	1	
高圧洗浄機	HW-1105	洲本	1	
高周波バイブレータ	H-230	エクセン(株)	6	入力 : 200V 3.5kVA
エンジン式バイブレータ	HAG-3F	ハヤシ	5	ガソリン
コンプレッサー (エンジン)	PDS50S	AIRMAN (北越工業(株))	1	吐出空気量 1.4m3/min, 最高圧力 0.69MPa
コンプレッサー (エンジン)	DPS-130SSB2	デンヨー(株)	1	吐出空気量 3.7m3/min, 最高圧力 1.37MPa
コンプレッサー (電気)	7.5P-14VA5	(株)日立産機システム	1	杉坪倉庫固定 (大倉庫)
コンプレッサー (電気)	7.5P-14VA5	イワタ (モーター三菱)	1	杉坪倉庫固定 (型枠小屋)
コンプレッサー (電気)	TLD37-14	岩田	1	横住センター固定
前後進振動コンパクター	RP300X	MEIWA	1	最大出力 :4.9kw 重量 :325kg
4 灯式投光機	SGU445W	スバル	1	メタルハライド 灯 220V/3.3A 440W × 4
2 灯式投光機	SGU425W	スバル	1	水銀灯 210V/3.3A 440W × 2
3 インチトラッシュポンプ	QP-301	トウカイ	6	経由 3 台 (QP-301TD-2)、ガソリン 3 台 (QP-301T)
2 インチトラッシュポンプ	QP-201T	トウカイ	2	ガソリン
ハイワッシャー	SKY435E	アリミツ	2	ガソリン 圧力 :35kgf/cm2 吐出量 :31.8L/ 分
ハイワッシャー	3Y35300	ツルミ	1	ガソリン 圧力 :50kgf/cm2 吐出量 :32.8L/ 分
発電機 + コンプレッサー	TLW-380LK 他	デンヨー +iwata	1	セットで固定 六日町車庫棟
小型ガソリンエンジン発電機	GA-1605A 他	デンヨー	4	定格出力 :1.3KVA(1),2.2KVA(2),2.3KVA(1)
ディーゼル駆動発電機	DA3505 他	ヤンマー (2), デンヨー (1)	3	
防音型溶接機・発電機	BLW280SSK	デンヨー	2	軽油 定格出力 :200V 9.9kw
防音型溶接機・発電機	TLW300SSWK	デンヨー	3	軽油 定格出力 :200V 9.9kw
溶接・発電・高周波 (三力)	PDW180SVBL	エアマン	1	軽油 定格出力 :発電 25Kw 高周波 :2.5Kw
防音型発電機	DCA-45USI2	デンヨー	1	軽油 定格出力 :200/220V 37/45kw
発電機	SDG125S	エアーマン	1	軽油 定格出力 :200/220V 80/100kw
発電機	DCA-25ESIB	デンヨー	1	軽油 定格出力 :200/220V 20/25kVA
発電機	DCA-45USI2	デンヨー	1	軽油 定格出力 :200/220V 37/45kVA
発電機	DCA-13USY	デンヨー	1	軽油 定格出力 :200/220V 10.5/13kVA
溶接機 (アーク小型交流)	BS 250M-3	DAIDEN(大阪電気)	1	杉坪型枠小屋固定
半自動溶接機	CPXs350	ダイヘン	1	杉坪型枠小屋固定
半自動溶接機	CPXGT-350	ダイヘン	1	杉坪型枠小屋固定
半自動溶接機	DR-SA(350A)	日立工機	1	横住センター固定
エアプラズマ切断機	VRC-81	ダイヘン	1	横住センター固定
舗装カッター (大)	ERC22DS	エクセン(株)	1	ブレード寸法 :317 ~ 570mm/12 ~ 22 インチ
舗装カッター (中)	ERC14DV	エクセン(株)	1	ブレード寸法 :最大 14 インチ
ワイヤー加縮機	GLD170	泉陽	1	圧力能力 :170t 使用可能径 18mm まで
サンドポンプ	SDK-N420	サンコー	1	口径 :50 φ 吐出量 :500l/min 全揚程 :45m
水中ポンプ	KRS-10M	ツルミ	1	口径 :250 φ 吐出量 :8m3/min 全揚程 10m
水中ポンプ	KRS-8S	ツルミ	1	口径 :200 φ 吐出量 :4m3/min 全揚程 10m
水中ポンプ	GPNS-100 他	ツルミ	5	口径 :100 φ , 揚程 10m(3),15m(1),30m(1)
水中ポンプ	LH311W-50 他	ツルミ	2	口径 :80 φ , 揚程 65m(1),30 ~ 37m(1)
水中ポンプ	KTZ23.7 他	ツルミ	4	口径 :50 φ , 揚程 50m(1),30m(2),12m(1)
ウインチ	750Kg 用	南星	1	エンジン :NT75(7.5 馬力)
	1.0t 用	南星	1	エンジン :NT95(10 馬力)
	2.0t 用	南星	2	エンジン :NT100(15 馬力)
筋金くん			1	鉄筋打込み機
ボーリングマシン	TDC-1,1G	利根	2	給進圧力 :1200Kg スピンドルのストローク 500mm
ボーリングマシン	THS-70N,THS	利根	2	
ボーリングマシン	TOM-30	利根	2	給進圧力 :5300Kg スピンドルのストローク 610mm
パーカッション	PRD-75S-H3	コーケン	2	給進圧力 :6000Kg スピンドルのストローク 1440mm
パーカッション	PDR-75S-H2	コーケン	1	スピンドルのストローク 1440/1560mm
マッドスクリーン	TM10B,TM-1000	大陸工業, 東邦	2	
送水ポンプ	MG-10	コーケン	1	吐出量 :120L/ 分 吐出圧力 :30Kg/cm2
送水ポンプ	NAS-3B	利根	1	吐出量 :130L/ 分 吐出圧力 :26Kg/cm2
送水ポンプ	NAS-4B,4J	利根	2	吐出量 :250L/ 分 吐出圧力 :27Kg/cm2
送水ポンプ	NP400	利根	1	吐出量 :395L/ 分 吐出圧力 :64Kg/cm2
送水ポンプ	MG15HFV	コーケン	1	吐出量 :55-210L/ 分 吐出圧力 :22Kg/cm2
送水ポンプ	NP700	利根	1	吐出量 :730L/ 分 吐出圧力 :12Kg/cm2
土粒子回収循環システム		自社制作	7	水槽 : 20m3 (12) ,15m3 (2)
ななめ台作		自社制作	3	



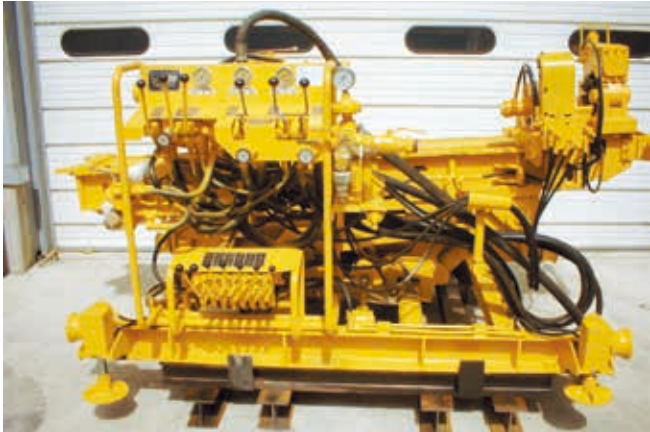
発電機 SDG125S



ボーリングマシン TOM-30



水中ポンプ 10 インチ



ロータリーパーカッション RPD-75SL



筋金君



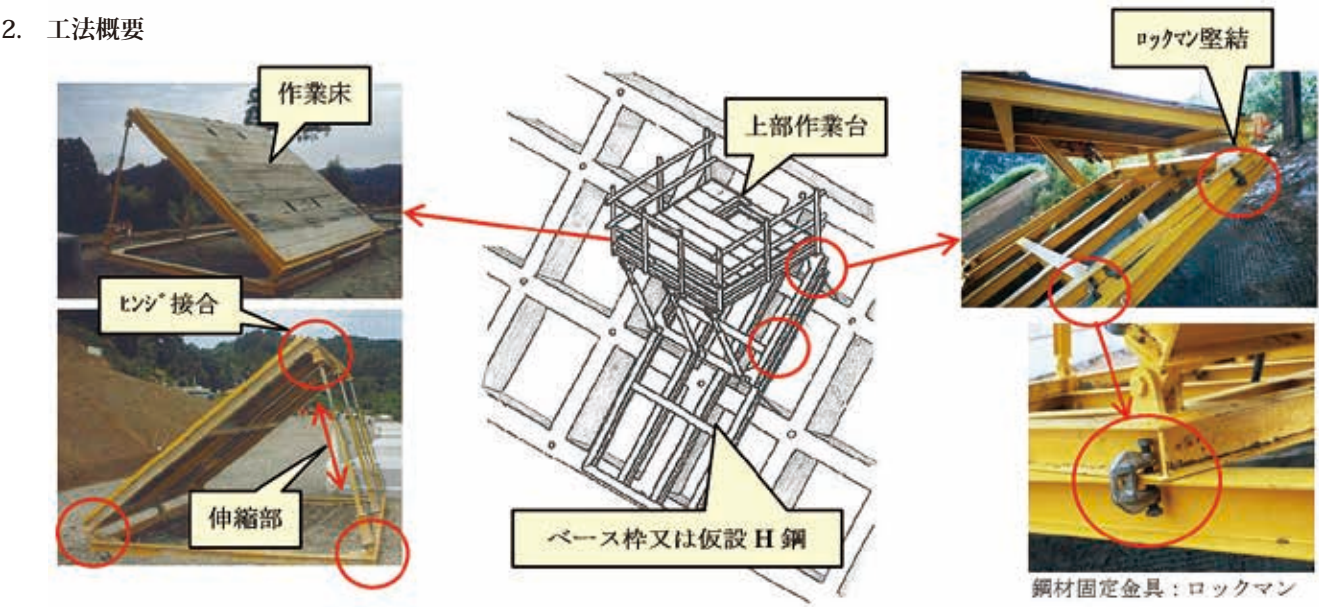
送水ポンプ NP700

法面削孔装置の移動式可変勾配足場（ななめ台作）

1. 開発の経緯

平成 14 年 8 月～平成 15 年 3 月 日 4 0 5 号国道交通連携(改築)工事において開発した。(冬期間に法枠工 1,032m²,グラウンドアンカー工 172 本施工、工期短縮のため開発)
平成 15 年 9 月 3 日 特許申請、平成 18 年 10 月 20 日 特許取得（特許第 3869824 号）
平成 18 年 9 月 Made in 新潟 新技術普及・活用制度 第一回登録 (18D1020)
平成 22 年 2 月 9 日 国土交通省 NETIS 登録 (HR-090014-A)

2. 工法概要



3. 工法（法面形態対応 3 タイプ）

名 称	第Ⅰ工法	第Ⅱ工法	第Ⅲ工法
法面工法対象とする	法枠先行工法	地山に「グラウンドアンカー工」	既設擁壁工に「グラウンドアンカー工」
ベース枠・H 鋼固定方法	本設法枠工交差部に仮設アンカーを埋込み、そのアンカーからベース枠等を固定する。	法面地山に仮設 H 鋼を設置し、沈下防止、転倒防止対策を行い、仮設 H 鋼を固定する。	既設擁壁面に、ベース枠または H 鋼を設置し、沈下防止対策を行う。転倒防止はコンクリートにアンカーを打ち込み固定する。
状況写真	 上越市浦川原区 (株)武江組様	 上越市牧区 (株)米持建設様	 宮崎県延岡市 (株)山崎建設様

4. 施工実績

H14 年:1 件（上越市牧区：第Ⅰ工法）、H15 年:1 件（上越市牧区：第Ⅰ工法）、H23 年:1 件（上越市牧区：第Ⅱ工法）、H24:1 件（上越市浦川原区：第Ⅰ工法）、H25:2 件（宮崎県延岡市：第Ⅲ工法、村上市：第Ⅲ工法）

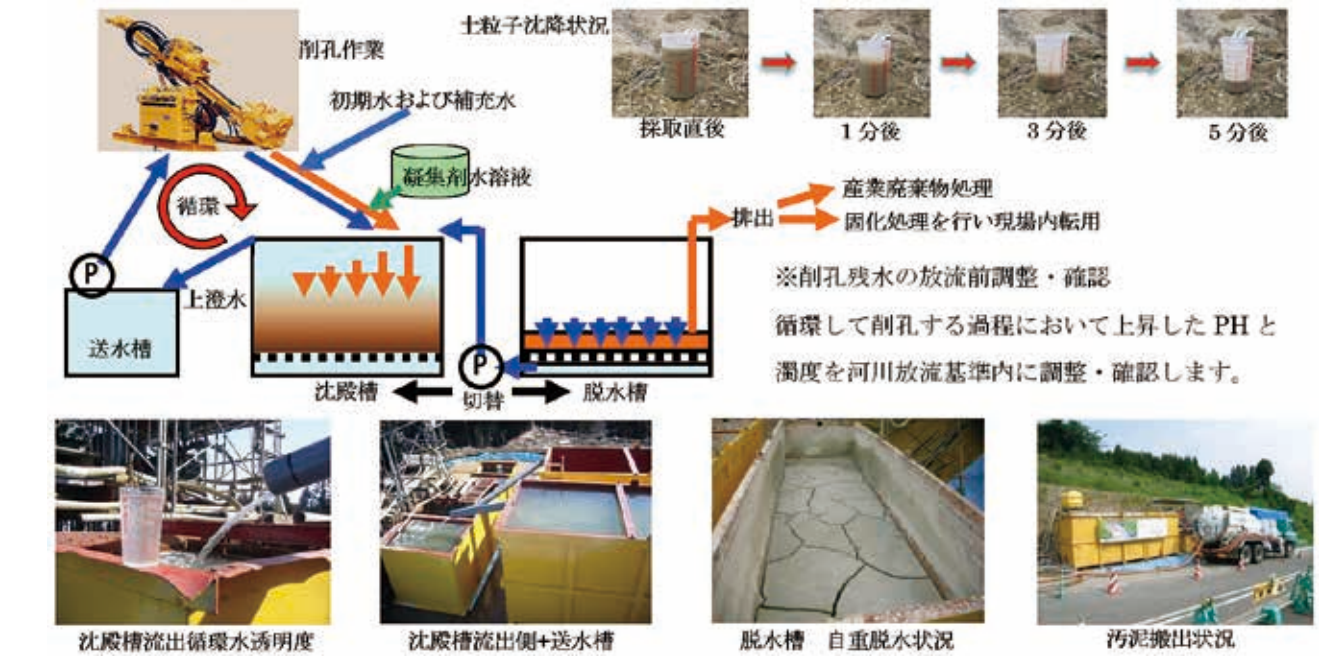
土粒子回収循環システム（Eco Mud Clean Method）

1. 開発の経緯

平成 16 年 7 月～平成 17 年 3 月 ⑨柿崎牧線緊急地方道(改築)工事（上越市牧区平方地内）において開発した。（グラウンドアンカー +PC 受圧板 190 本施工、簡易濁水処理のため開発）
平成 18 年 9 月 Made in 新潟 新技術普及・活用制度 第一回登録 (18D1021)
平成 22 年 3 月 30 日 国土交通省 NETIS 登録 (HR-090019-A)

2. 工法概要

水を用いて削孔等を行う工事において、濁水を現場外に放流せずに循環して施工する濁水処理工法です。原理的には削孔する水に凝集剤を溶かし込み、削孔水そのものに土粒子回収性状（動いているときは土粒子を捕まえ、止まると離す）を与え、それを循環して削孔し、工事完了後の最終放流以外は現場外に濁水および処理水を放流することなしに施工する工法です。



3. 稼働状況写真



4. 施工実績（平成 26 年 3 月末現在件数：稼働中含む）

発注機関	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	合計
新潟県	3	2	5	4	6	14	15	6	57
国			1	1	1			1	4
市町村		1	1					1	3
合計	3	3	7	5	7	14	15	8	62

コンクリートメンテナンス事業部

1. 経緯

平成 14 年夏頃	新潟市の㈱熊本組より「コンクリート改質剤：CS-21」の CD が届く。
平成 15 年冬	技術屋の勉強会で CS-21 の勉強する。機会があったら使うことにする。
平成 15 年 2 月～ 10 月	安塚地区振興事務所発注上岡地内谷止工にクラックが発生した。この現場で初めて㈱熊本組から来てもらい CS-21 塗布工法を行う。(結果は半信半疑)
平成 16 年 2 月～ 17 年	高規格道路熊沢の橋台に温度ひび割れ多数発生。対策工で背面に CS-21 を塗布する。翌年埋め戻し後、水平打ち継ぎから漏水するも 2～3 日で漏水が止まる。初めて CS-21 の効果を実感する。
平成 16 年 7 月	㈱熊本組の施工特約店としてアストン協会に入会する。
平成 18 年 4 月	㈱熊本組倒産に伴い㈱アルスの施工特約店となる。
平成 19 年 4 月	特殊工事部コンクリートメンテナンス課(杉本課長)、事業課(小島課長) 立ち上げ
平成 20 年 4 月	北陸新幹線(長野-金沢区)における施工指導について飛松建設株式会社(神奈川県)と覚書を交わす。(同年 7 月倒産に伴い㈱栄松に変わる)
平成 20 年 9 月 26 日	水路補修改修協会へ入会する。
平成 20 年 10 月	関川水系用水路において試験施工を行う。(香川県開発コンクリート㈱に応援願う)
平成 20 年～平成 26 年	北陸新幹線 PC 橋梁橋面防水工事を中心に CS-21 関連工事を数多く施工する。
平成 24 年 6 月 22 日	アストン協会一次特約店となる。(㈱アルスさんから承諾してもらう)

2. 工法概要



3. 施工実績 (請負額単位：万円)

発注先		H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
北陸新幹線 関連	件数					4	6	7	6	7	17
	売上					842	677	7,805	768	1,607	9,548
地元業者様	件数		3	7	1	2	6	7	11	11	9
	売上		84	105	73	26	1,102	245	228	349	218

多連式梯子 (開発中)

1. 開発の経緯

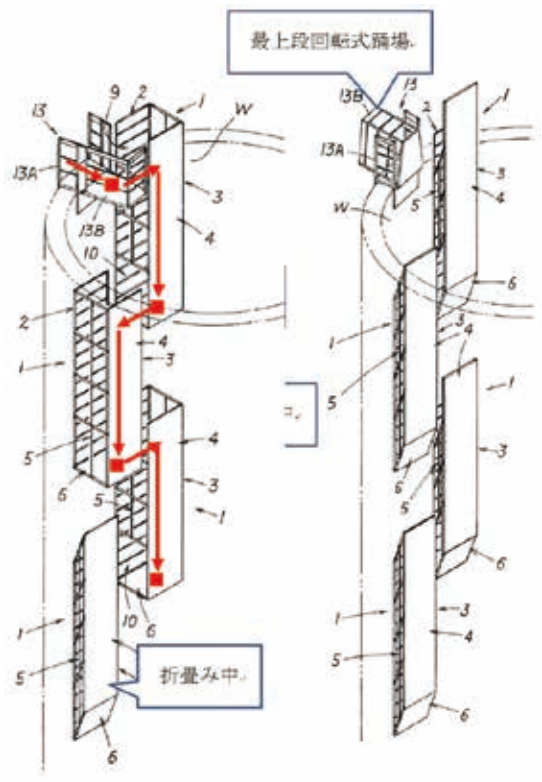
自沈式井筒工の作業においては、テレスコーム等による重機掘削と人力による井筒刃先の土の掻き出し作業が交互に行われる。このため作業員の昇降が頻繁に繰り返され、墜落災害の防止が大きな課題となっていた。

昇降時の作業員の安全面を最大限に優先するという観点から、当社では平成 25 年施工の井筒工(十日町市蒲生地内：㈱司工務店さんの下請現場)において、踊場付きの本設階段を設置しながら掘削するという施工方法を行ってみた。その結果、本設階段の占めるスペースが多いため、残りのスペースを利用したのクラムシェルバケットの昇降に非常に慎重な操作が必要となり、重機掘削速度が落ちてしまった。1 回だけクラムシェルバケットを本設踊場に接触させて変形させてしまったため、この踊り場を入れ替えた。

また本設階段の占めるスペースは重機による先行掘削ができないため、片掘りになりやすく井筒の偏芯にも影響を与えることが懸念された。「作業員の安全な昇降設備」と「重機の掘削作業の容易さ」という相反する課題を解決する方法として「折り畳み式梯子枠」という解決策を提案した。

経 過	
平成 25 年 9 月	「折り畳み式梯子枠」を考案(梅澤) 横住センターにて試作機作成
平成 25 年 10 月	特許申請の図面・書類作成し、吉井国際特許事務所に委託する。
平成 25 年 11 月 5 日	特許申請「多連式梯子」(特願 2013-229316)
平成 26 年 1 月～ 3 月	(有)ノーブルエンジニアサービスに制作依頼、梯子枠 5 台作成する。

2. 工法概要



折り畳み式梯子(有効高 5m 以内)を左右交互に配置することにより、高さ方向 5m 以内に踊場を有する構造である。

梯子内部空間は幅 60cm 奥行 60cm 程度とし、背面側面には墜落防止用の縦さんを配置してある。

折り畳む事により井筒内部空間が 50cm 程度広がる。

また折り畳む際に人力補助装置として梯子枠中段左右にパワーアシスト(ダンパー)を設置し、人力での開閉を容易にするとともに開閉時の衝撃を緩和する構造となっている。

今後自社工事現場において実証実験を重ね改良を加え、世間に発表していく予定です。(平成 26 年 3 月末現在：梅澤記)

H26 坪野地すべりにおいて初使用

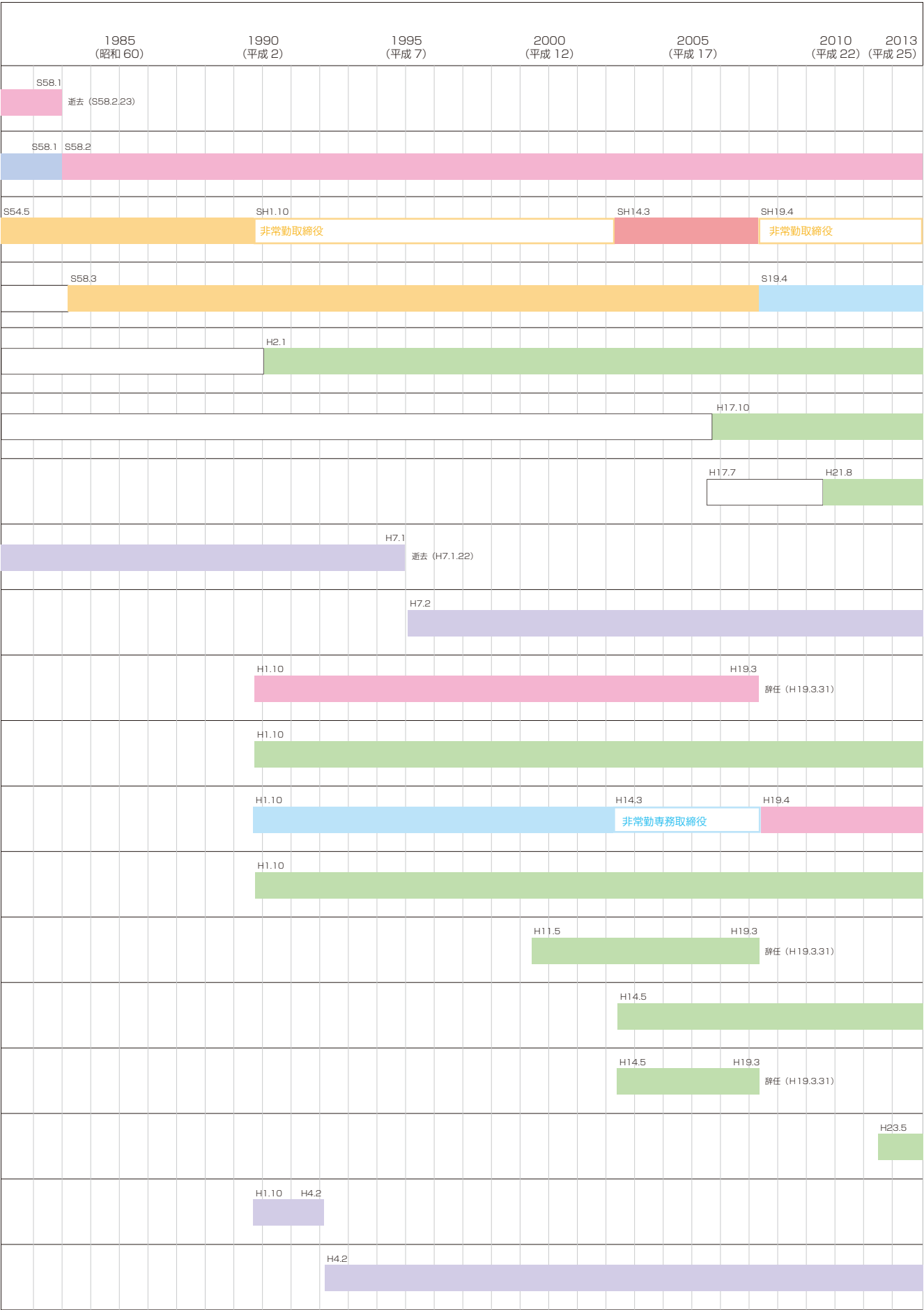
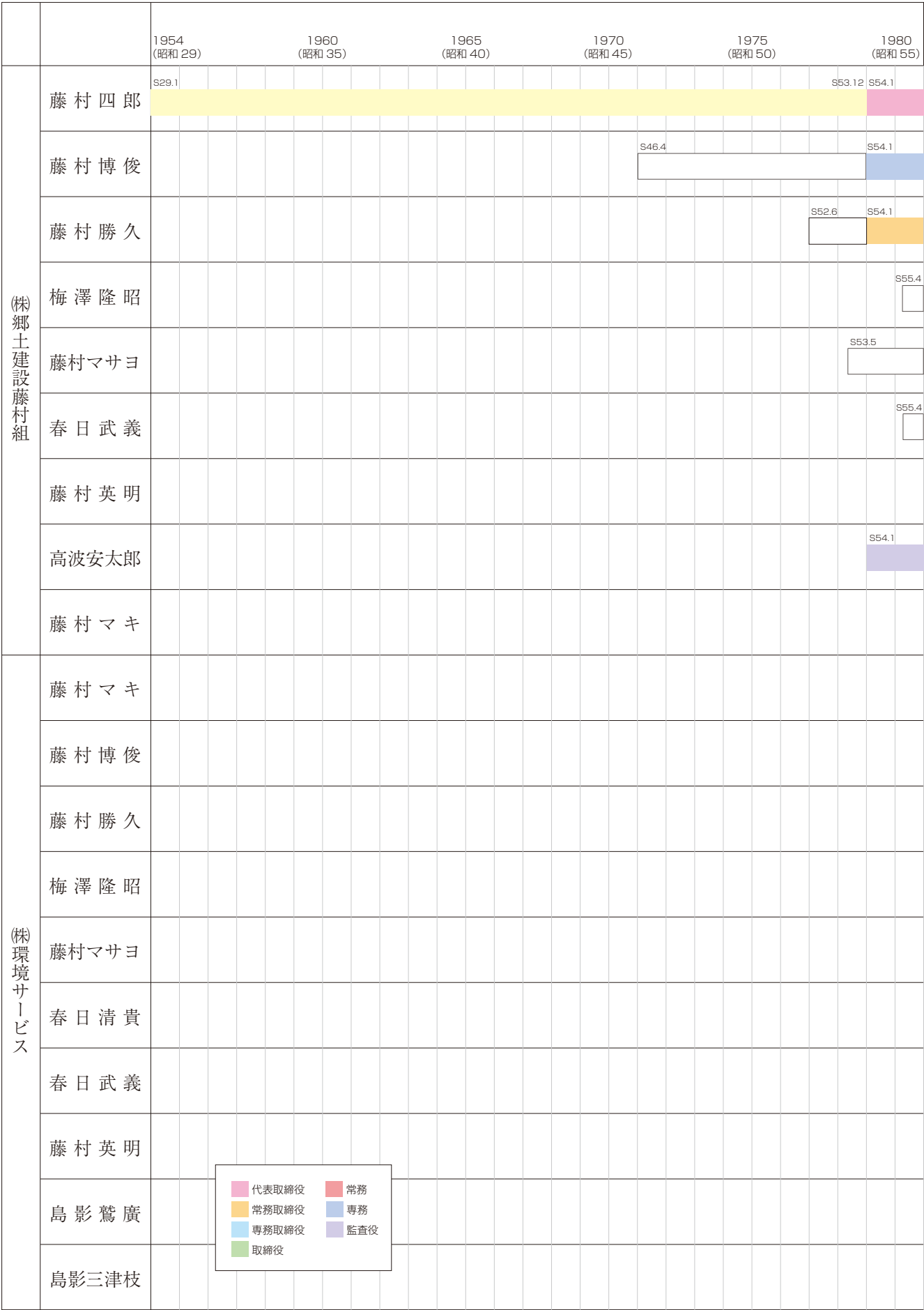


I T 化 の 歴 史

西暦	和暦	イベント	PC	社内情報	ワープロ	表計算	周辺機器	プロッター		
1980	昭和 55	梅澤入社		無	無	無	無	無		
1981	昭和 56	Casio PB-100 を用いて 工務計算プログラムを作成使用する。	Casio PB-100							
1982	昭和 57									
1983	昭和 58									
1984	昭和 59		PC-6001mk II N66-BASIC							
1985	昭和 60									
1986	昭和 61	柿崎牧線緊急地方道路整備工事にて 切土測量に光波距離計使用 その精度に驚愕 即光波トランシット購入	NEC PC6001mk II + テレビ画面 + 磁気テープ記録							
1987	昭和 62	N88 Basic にてソフト開発	PC9800 シリーズ使用							
1988	昭和 63						オフコン付属プリンター			
1989	昭 64 平 1	環境サービス 1600 件管理にカード型 データベース F1DATABOX 使用 月末処理には一昼夜かかった。	H1/5- リコーオフィス コンピュータ I モデル 73.5-TOB 966 万 建設業システム システムプレイントラ スト							
1990	平成 2									
1991	平成 3									
1992	平成 4									
1993	平成 5									
1994	平成 6	Visual Basic 開発セット購入	PC98 シリーズ 4 台 + ブック 1 台	一太郎 Word 松 併用	Excel ロータス 123 併用	プリンター共有システム (BSN アイネット) A3 カラープリンター BJC- 880J	MUTOH XP-500			
1995	平成 7					マックスビーボブ DF- 300C 65 万				
1996	平成 8									
1997	平成 9	藤村一雄 (H9/4-H10/9) 環境サービス業務ソフト変換 F1DATABOX ⇒ ACCESS	社内 L A N 構築 PC13 台 サーバー導入 (NetServer)			ロータス ノーツ				
1998	平成 10	保倉川局部改良工事 (長走) 武江組下請 KingCad+ 工助座標+光波による初の現場管理				WORD 統一	EXCEL 統一			
1999	平成 11							i-office		
2000	平成 12								A2 東芝コピー機 (ﾌﾟﾘﾏｼ ｬ) 購入	MUTOH インク ジェットプ ロッタ RJ-850C
2001	平成 13	全てデジタルカメラで撮影開始 デジタル文書管理・現場管理開始							Fuji DocuPrint C2221 明光商会バウチ PHL- 960(115 万) 東芝プロジェクター (TLP- X10J)57 万	
2002	平成 14	DoCuWorks 使用開始								
2003	平成 15	福井コンピュータ共同開発プロジェクト 7/2: 来社プレゼン .8/7: 福井本社プレゼン 10/7: 来社終了								
2004	平成 16	岩崎達男氏によりプログラム書換 ACCESS ⇒ SQL 正規化 +VB 開発								
2005	平成 17		SQL サーバー導入 (SC420)		Beat-box 導入 Fuji DocuPrint C3140					
2006	平成 18								Canon iPF700	
2007	平成 19	環境サービスプログラム再構築 ACCESS ⇒ JCS 依頼 特許出願「プロジェクト管理」(梅澤個人出願) H21.11.9 取得「特願 2007-2522 号」			Docu Wide3030 購入					
2008	平成 20		サーバー Magnia 入替							
2009	平成 21			deskne't						
2010	平成 22									
2011	平成 23	3 月積算ソフト「メビウス」追加				明光商会ラミネート LPV1111				
2012	平成 24	藤村組業務ソフト書換 VB6 ⇒ JCS 依頼	SQL サーバー入替 (SC420) 事務所全員 19in 二画 面				Canon iPF750			
2013	平成 25	JCS 納品								
2014	平成 26	JCS 第一回改良	技術者 2 画面目 27in							

■ 自社開発ソフト

測量ソフト	測量機器	積算	出来形管理	CAD	環境サービス	写真管理	社内システム	工務計算
無	無	無	無	無	会社無	無	無	
梅澤作成 ソフト								CasioPB100 にて開発 クロソイド要素出力 統一型ブロック割付計算 ヘロン面積計算 etc
	光波トランシッ ト GTS-320 購入							BASIC にて開発 XY 座標求積作図 ヘロン求積 道路縦断緩和計算 統一ブロック積割付 クロソイド設置 切土丁張り 砂置換法 モールド法密度計算 etc
	GTS-320F2 購 入				F1DATABOX 梅澤開発			
				King Cad				
						F1DATABOX ネガ管理		
工助		臥龍Ⅲ PC-9801BX2	出来形管理図作成システム カラーステップ 550 万 (含臥龍)	King Cad II 3.5inFD 16 万				VB6 にて開発 砂置換法 シュミットハンマー試験 クロソイド設置 (断面直 角法) 集水樁制作依頼書作成 車カーブ設置印刷 円筒斜切り (堰堤工のパ イプカット) セバ制作、塩分試験 提出工程表作成 etc
	GTS-703F 購入	ATLUS						
Blue Trend Ver1.0 購入	FC-7		自社開発 出来形管理ソフト By 梅澤 VB6	Win King	ACCESS 藤村一雄 書換 メンテ梅澤	ACCESS ネガ管理	ACCESS+SQL 社内ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ (梅澤開発) 入札情報 総務 施工計画 工務女子 工事情報管理 現場管理 経理情報管理 ISO 統合管理 ISO 品質計画書 KF 品質管理 給料計算 (改良)	ネット上無料ソフト使用
BlueTrend	光波 CS-101F パイプレーザー 購入			Blue Trend				
	GTS-605F 購入		出来スパート					
		ATLUS For Windows				デジタル写真 出来スパート		
	CS-225F 2 台購入							
		ATLUS Sophia					岩崎達男氏来社 SQL データ書換 VB ソフト書換	
					JCS 委託			
		ATLUS Sophia Select II H23.3 メビウ ス追加						
出来スパ ート に統一する	自動追尾 IS3+FC250 購入						JCS 委託	
		ATLUS		A 納図				





氏 名：藤村 博俊
生年月日：昭和 26 年 9 月 27 日
役 職：(株)郷土建設藤村組 代表取締役 (株)環境サービス 代表取締役会長
学歴・職歴
昭和 46 年 3 月 31 日 新潟県立高田工業高等学校土木科卒業
昭和 46 年 4 月 1 日 郷土建設藤村組に入社
昭和 54 年 1 月 5 日 (株)郷土建設藤村組 専務取締役に就任
昭和 58 年 2 月 1 日 (株)郷土建設藤村組 代表取締役に就任
平成元年 10 月 3 日 (株)環境サービス 取締役に就任
平成 19 年 4 月 1 日 (株)環境サービス 代表取締役会長に就任
有資格：一級土木施工管理技士（認定）、二級土木施工管理技士、二級建設機械施工技士、二級造園施工管理技士、発破技士他



氏 名：梅澤 隆昭
生年月日：昭和 28 年 9 月 19 日
役 職：(株)郷土建設藤村組 専務取締役 (株)環境サービス 取締役
学歴・職歴
昭和 51 年 3 月 31 日 東北大学工学部建築学科卒業
昭和 51 年 4 月 1 日 (株)奥村組に入社
昭和 55 年 4 月 1 日 (株)郷土建設藤村組に入社
昭和 58 年 3 月 1 日 (株)郷土建設藤村組 常務取締役に就任
平成元年 10 月 3 日 (株)環境サービス 取締役に就任
平成 19 年 4 月 1 日 (株)郷土建設藤村組 専務取締役に就任
有資格：技術士（建設）、コンクリート診断士、一級建築士、一級土木施工管理技士、一級建設機械施工管理技士、一級建築施工管理技士、一級舗装施工管理技士、地すべり防止工事士、農業水利施設補修工事品質管理士他



氏 名：藤村 勝久
生年月日：昭和 31 年 6 月 30 日
役 職：(株)郷土建設藤村組 常務取締役 (株)環境サービス 代表取締役
学歴・職歴
昭和 50 年 3 月 31 日 新潟県立高田工業高等学校建築科卒業
昭和 50 年 4 月 15 日 生研建設株式会社（東京都）に入社
昭和 52 年 6 月 10 日 郷土建設藤村組に入社
昭和 54 年 1 月 5 日 (株)郷土建設藤村組 常務取締役に就任
平成元年 10 月 3 日 (株)環境サービス 専務取締役に就任
平成 19 年 4 月 1 日 (株)環境サービス 代表取締役に就任
有資格：一級建築士、コンクリート診断士、コンクリート主任技士、一級土木施工管理技士、一級建設機械施工管理技士、一級建築施工管理技士、一級造園施工管理技士、一級管工事施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、一級舗装施工管理技士、地すべり防止工事士、グラウンドアンカー施工士、給水装置工事主任技術者、浄化槽管理士、浄化槽施術管理者認定講習、浄化槽設備士、下水道第 3 種技術検定（処理施設）、下水道管理技術認定試験（管路施設）他



氏 名：春日 武義
生年月日：昭和 32 年 3 月 16 日
役 職：(株)郷土建設藤村組 取締役営業部長
学歴・職歴
昭和 50 年 3 月 31 日 新潟県立高田工業高等学校建築科卒業
昭和 50 年 4 月 1 日 (株)廣野組に入社
昭和 55 年 4 月 1 日 (株)郷土建設藤村組に入社
平成 14 年 3 月 1 日 (株)環境サービス 取締役営業部長に就任
平成 19 年 4 月 1 日 (株)郷土建設藤村組 取締役営業部長に就任
有資格：一級土木施工管理技士、一級建設機械施工管理技士、一級建築施工管理技士、一級舗装施工管理技士、地すべり防止工事士、給水装置工事主任技術者、浄化槽設備士他



氏 名：春日 清貴
生年月日：昭和 31 年 6 月 21 日
役 職：(株)環境サービス 取締役業務部長
学歴・職歴
昭和 52 年 3 月 31 日 新潟県立農業技術大学校卒業
昭和 52 年 4 月 1 日 浦川原村農業協同組合入組
平成 4 年 3 月 9 日 (株)環境サービスに入社
平成 14 年 5 月 1 日 (株)環境サービス 取締役業務部長に就任
有資格：一級土木施工管理技士、一級造園施工管理技士、一級電気工事施工管理技士、給水装置工事主任技術者、浄化槽設備士、浄化槽管理士、下水道第 3 種技術検定（処理施設）、下水道管理技術認定試験（管路施設）他



氏 名：藤村 英明
生年月日：昭和 54 年 9 月 21 日
役 職：(株)郷土建設藤村組 取締役 (株)環境サービス 取締役
学歴・職歴
平成 14 年 3 月 31 日 第一工業大学土木工学科卒業
平成 14 年 4 月 1 日 前田道路株式会社に入社
平成 17 年 7 月 1 日 (株)郷土建設藤村組に入社
平成 21 年 8 月 28 日 (株)郷土建設藤村組 取締役に就任
平成 23 年 5 月 28 日 (株)環境サービス 取締役に就任
有資格：一級土木施工管理技士他



株式会社 環境サービス

1. 経 緯

平成元年 10 月 31 日	株式会社環境サービス創業（資本金 520 万円、浦川原村大字横住 404 番地 1）
平成 2 年 3 月 22 日	建設業許可取得（新潟県知事許可 般-1 9677 号）
平成 2 年 4 月から	一般廃棄物収集運搬（し尿収集・浄化槽汚泥）業務開始（大島村、浦川原村、安塚町）
平成 2 年 12 月から	安塚町キューピットバレイオープン、㈱日化サービス下請けで管理開始
平成 3 年 4 月から	浄化槽維持管理業務開始（上記三町村における公共・民間 約 1,600 基）
平成 6 年 4 月 19 日	産業廃棄物収集運搬業許可取得（新潟県知事許可 1506014376）
平成 6 年 11 月から	須川地区農業集落排水事業供用開始 維持管理業務受託
平成 7 年 11 月 16 日	資本金の増資 1,000 万円
平成 8 年 12 月から	安塚地区松崎処理施設供用開始 施設管理受託
平成 12 年 4 月 1 日	介護事業開始（ヘルパー派遣 3 名）業績不振につき一年間で閉鎖
	下水道中継ポンプ槽清掃業務開始（新井、妙高市、主に下請）
平成 13 年 4 月から	浦川原浄化センター施設管理受託
平成 15 年 5 月から	牧村においても浄化槽維持管理業務開始
平成 17 年 3 月から	サニクリーン事業開始
平成 17 年 4 月から	一般廃棄物収集業務（ごみ）受託（可燃・生は大島区浦川原区安塚区の三区、 不燃・資源は浦川原区安塚区の二区、事業系一般廃棄物収集運搬業務開始）
平成 18 年 5 月 1 日	本社移転（㈱郷土建設藤村組の本社に同居）
平成 20 年 5 月	最新鋭カメラ調査システム購入、下水道管路調査業務開始
平成 22 年 11 月 19 日	上越市管路調査協会設立、翌年上越市と災害協定を締結
平成 25 年 12 月 9 日	上越市一般廃棄物処理事業者協同組合設立 理事長に藤村勝久就任

2. 業務内容

【浄化槽維持管理業務】

法律で定められた浄化槽の保守点検や維持修繕の業務を行います。



【公共下水処理施設維持管理業務】



公共下水道浦川原浄化消センター運転・維持管理

【し尿収集業務】【浄化槽清掃業務】

行政からの委託により、し尿収集・運搬業務を行います。
浄化槽の汚泥収集・運搬業務を行います。



【農業集落排水処理施設維持管理業務】



安塚地区・須川地区農業集落排水処理場運転・維持管理

【一般廃棄物収集運搬業務】

【産業廃棄物収集運搬業務】

住み良い環境づくりに欠かせないゴミの収集・運搬業務を行います。

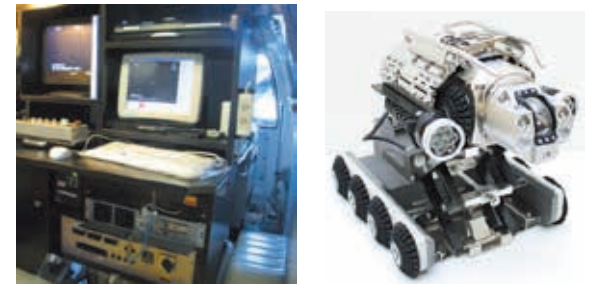


【建設工事業務】



鍋立地区第 3 次工事 山本地内

【下水道清掃業務・カメラ調査】



地すべり防止（溪流）工事 浦川原村谷地内

3. 許可・登録

建設業許可	新潟県知事 般-22 第9677号	土、建、と、電、管、ほ、園、井、水
新潟県浄化槽保守点検業者登録	新潟県知事（登）01第1408号	
新潟県産業廃棄物収集運搬業許可証	1506014376	
一般廃棄物処理業許可	上生環第8954号	
浄化槽清掃業許可	上生排第8793号	
上越市下水道排水設備指定工事店	第268号	
上越市指定給水装置工事事業者	第181号	
エコアクション 21 認証・登録	0004099	

4. 所属団体

社団法人 新潟県産業廃棄物協会
 社団法人 新潟県浄化槽整備協会
 社団法人 新潟県建設業協会安塚支部
 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
 上越市管路調査協会 副会長（事務局）
 糸魚川市管路設備調査協会 監事
 上越市一般廃棄物処理事業者協同組合 理事長

年 号	会社の出来事 写真
1954 [昭和 29 年] 7 月 新潟県警察発足	1 月 郷土建設藤村組 創業（藤村四郎）
1955 [昭和 30 年] 3 月 下保倉村・月影地区・中保倉地区合併、浦川原村誕生	
1956 [昭和 31 年] 1 月 役場庁舎新築落成 10 月 日ソ共同宣言 12 月 国際連合に加盟	
1957 [昭和 32 年] 9 月 浦川原駅完成（改築） 8 月 茨城県東海村原子炉に点火	
1958 [昭和 33 年] 12 月 NHK 新潟放送局、ラジオ新潟テレビがテレビ本放送を開始	
1959 [昭和 34 年] 1 月 浦川原中学校校舎落成	
1960 [昭和 35 年] 6 月 日米安全保障条約の改定。安保闘争	
1961 [昭和 36 年] 4 月 坪野集落を浦川原村へ編入、現在の浦川原村ができる	
1962 [昭和 37 年] 12 月 ブルドーザーを初めて購入	国道 253 号改良工事請負う、ジュビター（トラック）を買う

年 号	会社の出来事 写真
1963 [昭和 38 年] 38 豪雪 1 月 県内各地で記録的大雪	
1964 [昭和 39 年] 2 月 新潟国体冬季大会開催 10 月 東海道新幹線開業	 発注者：新潟県 工事番号：災第 624 号 工事名：護岸復旧工事 工事場所：東頸城浦川原村大字有島地内 工期：S38.12.5－S39.3.2 請負金額：1,524,368 現場の思い出：せぎの左岸側。とし松の横よりそい 箆で材料運搬する。（おふくろも）上岡人多数ゆく。
1965 [昭和 40 年] 10 月 浦川原中学校体育館増築工事完成	 発注者：新潟県 工事番号：災第 669 号 工事名：護岸復旧工事 工事場所：東頸城郡浦川原村大字横川地内 工期：S40.10.23－S41.3.31 請負金額：7,883,000 現場の思い出：村田屋裏の保倉川 D50S プルを埋める。パーチカルポンプを買う。 12 時に起きて 10 馬力のエンジン回すと、1 人 付けてもらう。 事務所の 2 階に 3～4 人泊まる。
1966 [昭和 41 年] 8 月 浦川原中学校給食室増築 11 月 同中学校寄宿舎、下保倉保育所完成	3 月 新潟県建設業協会加入 大門地すべり工事開始  発注者：新潟県 工事番号：災第 678-1 号 工事名：護岸復旧工事 工事場所：東頸城郡浦川原村大字菱田地内 工期：S41.3.24－S41.9.3 請負金額：9,318,000 現場の思い出：菱田の橋の下流左岸 発注者：新潟県 工事番号：通第 117 号 工事名：通常砂防工事 工事場所：東頸城郡浦川原村大字谷地内 工期：S41.4.28－S41.8.25. 請負金額：4,761,000

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号	会社の出来事 写真
1967 [昭和 42 年] 10 月 山本、今熊の園場整備始まる	大型倉庫新築 7 月 白根山浅間高原 (-7/20) 
1968 [昭和 43 年] 豪雪。38 豪雪上回る 9 月「軽便」浦川原～飯室間を廃止	2 月 藤村四郎倒れる  発注者：浦川原村役場 工事名：飯室乙線改良工事 工事場所：東頸城郡浦川原村大字飯室地内 工期：S42.10.20－S42.12.10 請負金額：747,000 後列左から山崎文夫、藤村久代、？、鳥越、平野ヨシ、？、長谷川、竹内正美、西山チエ子、？、西山（鍛冶屋の父ちゃん）、原アンチャ、横尾、北澤政行、？、秋山弘之、原 前列左から藤村敏雄、？、舟波宝来治、渡辺信一、藤村（敬称略）
1969 [昭和 44 年] 1 月 NHK 大河ドラマで上杉謙信を主人公とする「天と地と」の放送開始	
1970 [昭和 45 年] 3 月 日本万国博覧会（大阪）開催	

年 号	会社の出来事 写真
1971 [昭和 46 年] 4 月 高田と直江津市が合併、上越市誕生 5 月 頸城鉄道、鉄道事業廃止	4 月 藤村博俊入社
1972 [昭和 47 年] 2 月 札幌オリンピック開催 (2/3～2/13) 5 月 沖縄の日本復帰 7 月 田中角栄が県人初の内閣総理大臣となる 9 月 日中国交正常化 12 月 除雪センター完成	安塚谷牧線道路改良始まる。
1973 [昭和 48 年] 4 月 中央公民館完成	特殊改良第Ⅰ種工事始まる。
1974 [昭和 49 年] 7 月 柏崎刈羽原子力発電所 1 号機の建設計画認可	
1975 [昭和 50 年] 7 月 沖縄国際海洋博覧会開催	追出にて高谷川河川災害 4 件（下請：片法枠 6 型Ⅵ）  発注者：養和土建（安塚土木事務所） 工事番号：49 災第 1022-0-1 号、02 号 工事名：高谷川河川災害工事 工事場所：東頸城郡浦川原村大字追出地内 工期：S50.1.16－S50.3.30 請負金額：11,750,000 担当者：藤村博俊 現場の思い出：K 3 ウインチを初めて 1 台購入。 初めて責任を持って索道を張る。

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
 ■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

1976 [昭和 51 年]

1 月 東頸西部葬祭施設
オープン（蔵岡）

会社の出来事 写真

11 月 渋温泉



後列左から藤村正勝、藤村博俊、岩崎虎一、坪野フミ子、秋山サエ子、岩崎武敏、塚本カズ工、岩崎一馬、藤村マキ、秋山正
 前列左から藤村正武、岩崎和子、坪野シズ工、藤村文子



発注者：浦川原村役場
 工事名：安塚谷牧線道路改良工事
 工事場所：東頸城郡浦川原村大字谷地内
 工期：S50.8.6－S51.3.15
 請負金額：22,954,000
 担当者：藤村 博俊

1977 [昭和 52 年]

7 月 村宮水道着手、起工
式

6 月 藤村勝久入社

11 月 日光鬼怒川温泉



発注者：安塚土木事務所
 工事番号：単地第 1401 号
 工事名：荒牧地すべり地すべり防止工事
 工事場所：東頸城郡浦川原村大字法定寺地内
 工期：S52.10.7－S52.12.16
 請負金額：3,817,000 担当者：藤村勝久
 現場の思い出：TDC 購入する。

年 号

1978 [昭和 53 年]

4 月 下保倉小学校校舎完成
 5 月 成田国際空港開港
 8 月 日中平和友好条約調印
 10 月 上越教育大学開学
 11 月 虫川で北越北線の
起工式

会社の出来事 写真

事務所引屋



11 月 上山田温泉 1 泊



後列左から坪野昭八、藤村武夫、春日スミ子、坪野シズ工、金井トク、三崎義治、坪野栄一
 前列左から藤村勝久、藤村マサヨ、岩崎和子、米山ハツ、塚本カズ工



左から藤村勝久、藤村博俊



発注者：東頸農地事務所
 工事番号：老朽ため池整備事業
 工事名：山本地区ため池改修第 1 次工事
 工事場所：東頸城郡浦川原村大字山本地内
 工期：S 53.10.14－S 54.2.10
 請負金額：6,951,000 担当者：藤村博俊
 工事概要：土砂吐工余水吐水路
 現場の思い出：技術難度の高い工事で当社施工できるか危ぶまれたが、苦勞しながら無事終了。「技術の藤村」の先駆けとなった工事

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

1979 [昭和 54 年]

1 月 株式会社に組み替え 資本金 500 万円

4 月 花見



左から三崎義治、？、蓼和一夫、秋山弘之、藤村博俊、藤村四郎、岩崎一馬、秋山正、秋山良文、坪野昭八



左から 3 人目岩崎和子、6 人目横尾ミネ子、秋山サエ子、塚本カズ工、坪野フミ子

年 号

会社の出来事 写真

1980 [昭和 55 年]

4 月 梅澤隆昭・渡辺（春日）武義入社

6 月 湯田中温泉

後列左から藤村博俊、三崎義治、秋山正、坪野昭八、藤村正勝、蓼和一夫、岩崎武敏、岩崎虎一、岩崎一馬
前列左から梅澤隆昭、藤村勝久、小平一三、藤村正武、藤村武夫

11 月 飛行機松島 22 名

後列左から藤村博俊、坪野昭八、秋山サエ子、春日鈴子、小平一三、蓼和一夫、岩崎虎一、坪野フミ子、岩崎武敏、
坪野シズ工、常山（外注オペ）、三崎義治、藤村マキ、坪野栄一
前列左から藤村勝久、塚本カズ工、横尾ミネ子、岩崎和子、春日スミ子、米山ハツ、藤村武夫、春日武義

発注者：上越林業事務所
工事番号：復第 123 号
工事名：復旧治山工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字杉坪地内
工期：S 55.7.1 — S 56.1.6
請負金額：13,178,000 担当者：梅澤隆昭
工事概要：谷止工（コンクリート）
L=37.5m H=6.50 V=406m³
前 1:2 後 1:0.25
目地材 10mm 21.5m²
止水板塩ビ製フラット型 コルゲート 85m
現場の思い出：その後、堰堤が少し転倒する。（約 10 年後）別工事で補修する。蓼和正文君がアルバイトで来る。

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

1981 [昭和 56 年]

新潟県除雪委託開始（県道名木山線）

4 月 観桜会



左から秋山サエ子、横尾ミネ子、坪野シズエ

11 月 東山温泉「瀧本館」19 名



後列左から藤村博俊、小平一三、春日武義、小堺健一、蓑和一夫、藤村勝久、梅澤隆昭、藤村正勝、岩崎武敏、広瀬（添乗員）
前列左から春日スミ子、春日鈴子、塚本カズエ、春日イシ、坪野シズエ、藤村マキ、坪野フミ子、横尾ミネ子、藤村武夫、坪野昭八



発注者：新潟県上越林業事務所
工事番号：復第 124 号
工事名：復旧治山工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字菱田
請負金額：12,150,000 担当者：藤村勝久
工期：S 56.1.9－S 56.3.24
工事概要：L=22.0m V=364.8㎡ H=8.5m

年 号

会社の出来事 写真

1982 [昭和 57 年]

11 月 上越新幹線、新潟一大宮間開業

4 月 杉坪倉庫建設



発注者：上越林業事務所
工事番号：予第 15 号
工事名：予防治山工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字東俣地内
工期：S 57.4.28－S57.11.3
請負金額：13,343,000 担当者：梅澤隆昭
工事概要：コンクリート 谷止工
L=29.5m H=7.0m V=395.2m3
現場の思い出：左岸間詰め型枠がパンクし、印内防火水槽班から応援してもらう。

11 月 和倉温泉 16 名（3、4 日）

1983 [昭和 58 年]

2 月 藤村四郎死亡
代表取締役 藤村四郎→藤村博俊



発注者：安塚土木事務所
工事番号：58 災第 269 号
工事名：円行寺川砂防災害復旧工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字追出地内
工期：S 58.8.12－S58.12.29
請負金額：36,294,000 担当者：藤村勝久
工事概要：コンクリート堰堤工、本堤工 653.2㎡
前提工 67.2㎡、側壁 44.0㎡、
水叩コンクリート 34.3㎡、水叩間詰工 132.2㎡
現場の思い出：1.0㎡バケットを吊れる索道を張る。
初めて K 4（3 t 吊）ウインチを買う。ヤンマー
110 エンジン中古（5 万）で大越氏より買う。
12 月 3 日にコンクリートバケットを落下させる。
大事故の一手手前で済む。

1984 [昭和 59 年]

2 月 59 豪雪、最高積雪 358 センチ
12 月 正善寺ダム完成

12 月 資本金変更 500 万円→800 万円



発注者：東頸農地事務所
工事番号：58 災 5220-8002
工事名：追出地区農地保全工事
請負金額：12,808,000 担当者：藤村勝久
工期：S 59.3.7－S59.11.11
工事概要：農地保全工 一式
現場の思い出：杭打工 2 線＋増工で 1 線施工する。
グラウトに苦しむ。
THS70 ボーリングマシンの新品を購入。
1 台は保坂組から借用。

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

1985 [昭和 60 年]

60 豪雪
6 月 新潟市新光町に県庁
新庁舎完成

3 月 つくば科学万博



夢ひらく新世紀・つくば科学万博会場 1985



後列左から坂口三津子、小堀奥さん、金井トク、塚本カズ工、坪野シズ工、秋山サエ子、坪野昭八、渡辺修孝
前列左から横尾ミネ子、春日鈴子、藤村マキ、藤村勝久、藤村博俊、佐々木徳蔵、梅澤隆昭、三崎義春、村井功

4 月 箱根温泉



後列左から広瀬（添乗員）、藤村勝久、藤村武夫、竹内正美、村井功、春日武義、佐々木徳蔵、秋山剛、三崎義春、
秋山弘之、蓑和一夫、渡辺修孝
前列左から梅澤隆昭、山崎明、横尾ミネ子、藤村博俊、坪野昭八、金井トク、藤村春義、坪野シズ工、秋山サエ子、
塚本カズ工、春日鈴子、坪野フミ子



発注者：安塚土木事務所
工事番号：安臨交第 15-4 号
工事名：柿崎牧線緊急地方道路整備工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字上岡地内
工期：S61.5.16－S61.11.6
請負金額：43,839,000 担当者：梅澤隆昭
工事概要：L=120m W=5.50(7.00)m
土工 約 30,000㎡ 排水工 120m 下層路盤工 822㎡
現場の思い出：初めて光波トランシットを借りて、
切土丁張を出した。任意点から切り出しを設置する
方法を考案した。

年 号

会社の出来事 写真

1987 [昭和 62 年]

6 月 亀田町亀田工業団地に
事業本部を開設

1 月 3 月事務所移転（西側倉庫を事務所）
資本金変更 800 万円→1,000 万円



発注者：新潟県東頸農地事務所
工事番号：ため池等整備事業
工事名：飯室地区第 62-1 次工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字飯室地内
工期：S 62.7.28－S62.12.4
請負金額：19,769,000
担当者：梅澤隆昭 現場代理人：梅澤隆昭
主任技術者：梅澤隆昭
工事概要：堤体工 29.0m
波除護岸工 1 式 (A=721.4㎡)
余水吐工 L=11.29m
資材運搬道路工 L=84.88m

1988 [昭和 63 年]

4 月「岩室の会」が岩室郷
建設に着手
北陸自動車道（新潟－
米原間）が開通
3 月 青函トンネル開通
4 月 瀬戸大橋開通



発注者：安塚土木事務所
工事番号：地第 27-0-2 号
工事名：円行寺地すべ地すべり対策工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字追出地内
工期：S 62.12.11－S63.1.15
請負金額：13,000,000 担当者：藤村勝久
工事概要：組立集水井筒工 1 基 径 300 H=15.5m
排水ボーリング工 L=50m 1 孔
現場の思い出：我社初の集水井の施工で、全社体制
で施工にいとむ。索道で組み立てる。THSにW
チャックをつけて排水をもむ。大変苦労した。

■ 浦川原出来事
 ■ 新潟県・上越地方出来事
 ■ 日本出来事
■ 藤村組・社内関連
 ■ 環境サービス関連
 ■ 共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

1989

[平成 1 年]

6 月 北越北線、村内全線で工事開始

4 月 消費税 (3%) 施行

5 月 横住倉庫建設 (環境事務所含む)



納涼大会



4 月 横浜博・鎌倉 (16、17 日)



10 月 ㈱環境サービス 創業 資本金 520 万円

年 号

会社の出来事 写真

1990

[平成 2 年]

キュービッドパレー
スキー場オープン

2 月 資本金変更 1,000 万円→1,500 万円
納涼大会



4 月 山代温泉
3 月 ㈱環境サービス 新潟県知事建設業許可取得

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

1991 [平成3年]

10月 全国初の巨大な馬や
跡発掘―飯室・境原
遺跡

納涼大会



4月 伊香保温泉 (4/13,14)



左から藤村博俊、塚本カズ工、坂口三津子、春日武義、池田百合子



発注者：新潟県上越林業事務所
工事名：飯室横川線飯室工区林道開設工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字飯室地内
工期：H3.5.30―H3.11.20
請負金額：33,300,000 担当者：梅澤隆昭
工事概要：切取 5,705.2㎡ 盛土 3,406.7㎡
擁壁工 78.7㎡ 溝渠 3箇所
路面・路盤工 287.8㎡ 安全施設工 1式

年 号

会社の出来事 写真

1992 [平成4年]

納涼大会



4月 香港ツアー 23名



発注者：新潟県安塚土木事務所
工事名：牧横住線地方道路特殊改良一種工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字真光寺地内
工期：H4.5.29―H5.1.3
請負金額：38,592,000 担当者：藤村勝久
現場代理人：竹内清 主任技術者：松野直利
工事概要：延長 L=200.0m W=6.0(8.0)m
土工一式 井桁ブロック積工 180.3㎡
下層路盤工 1,593㎡

■ 浦川原出来事
 ■ 新潟県・上越地方出来事
 ■ 日本出来事
■ 藤村組・社内関連
 ■ 環境サービス関連
 ■ 共通の出来事

年 号

1993 [平成 5 年]

12 月 田中角栄元首相死去

会社の出来事 写真

10 月 資本金変更 1,500 万円→3,000 万円

4 月 熱海温泉 (4～10 日)



左から金子茂、坂口三津子、(無関係)、春日鈴子、藤村マサヨ、池田百合子、横尾ミネ子



発注者：新潟県東頸農地事務所
 事業名等：農免農道事業
 工事名：上岡地区第 1 次工事
 工事場所：東頸城郡浦川原村大字上岡地内
 工期：H5.7.6－H5.12.2
 請負金額：29,494,175
 担当者：梅澤隆昭 現場代理人：岡国春
 主任技術者：梅澤隆昭
 工事概要：路床工 1 式 下層路盤工 1,850㎡
 水路工 一式 分水柵工 11 箇所
 L 型法止工 64m 積ブロック工 74.4㎡
 取付道路工 一式 取水工 一式



年 号

1994 [平成 6 年]

4 月 県内で新設 4 大学が開学 (新潟国際情報大学、新潟経営大学、長岡造形大学、県立看護短大)

7 月 国内最大級ショッピングセンター「上越ウイングマーケットセンター」がオープン

9 月 関西新空港開港

会社の出来事 写真

4 月 沖縄 42 名



発注者：安塚土木事務所
 工事番号：地対溪 第 49 号
 工事名：坪山地区地すべり対策 (治水) 工事
 工事場所：東頸城郡牧村大字坪山地内
 工期：H6.10.28－H7.3.25
 請負金額：24,565,000 担当者：春日武義
 工事概要：集水井工 (φ 3.5 m、DEP 9.5 m) 1 基
 集水ボーリング工 (φ 90mm) 640.0m
 排水ボーリング工 (φ 135mm、80A) 49.0 m
 現場の思い出：なかなか井戸が落ちず苦労する。始めてパーカッションを使用。(新規購入)

1995 [平成 7 年]

7 月 7.11 水害。関川、姫川氾濫

1 月 阪神淡路大震災

3 月 地下鉄サリン事件

4 月 草津温泉「ホテル一井」38 名

11 月 (株)環境サービス 資本金変更 520 万円→1,000 万円



■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
 ■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

1996 [平成8年]

7月 役場新庁舎完成

会社の出来事 写真

8月 本社建設・本社移転



新事務所移動の日
 (平成8年8月8日午前8時8分)
 新旧事務所前にて役員集合
 左から藤村勝久、梅澤隆昭、藤村博俊、
 藤村マキ、藤村マサヨ



4月 加賀屋 55名

4月 シンガポール 30名 (10～13日)



九州2泊3日 28名



発注者：新潟県安塚土木事務所
 工事名：顕聖寺地区急傾斜地崩壊対策（公関他・国債）工事
 工事場所：東頸城郡浦川原村大字顕聖寺地内
 工期：H10.3.27～H11.1.10
 請負金額：64,831,000 担当者：春日武義
 現場代理人：藤村範行 主任技術者：藤村範行
 工事概要：防護柵工 45.0m 防雪工 18.0基
 掘削工 2,610.0m³

年 号

1998 [平成10年]

2月 長野オリンピック開催 (7～22日)

会社の出来事 写真

4月 飛田高山下呂温泉「水明館」44名



発注者：安塚土木事務所
 工事番号：地防第4-0-3号
 工事名：主柿崎牧線雪寒地域道路（地方道防雪）工事
 講師場所：東頸城郡浦川原村大字上岡地内
 工期：H11.1.22～H11.7.20
 請負金額：47,619,000 担当者：梅澤隆昭
 工事概要：雪崩予防柵 17基（製作・設置）
 現場の思い出：型枠・鋼材セットで吊上げ設置。
 全体路線を考慮しての方線計画。
 45 tレッカーを設置し、全止めした1台目車両が土木・渡辺検査員だった。

1999 [平成11年]

4月 「ホテル百万石」51名 (23、24日)



■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

2000 [平成 12 年]

ISO 取得に向け全社取り組み

4 月 福島・飯坂温泉「聚楽」(21、22 日)



介護事業開始（ヘルパー派遣 3 名）…1 年で閉鎖



発注者：新潟県東頸農地事務所
事業名等：県営農地環境整備事業
工事名：切光地区区画整理 第 1 次工事
工事場所：東頸城郡牧村大字切光地内
工期：H12.7.11－H13.3.20
請負金額：77,638,096 担当者：小島宏之
現場代理人：渡辺信一 主任技術者：渡辺信一
工事概要：区画整理 2.45Ha 用水路工 587m 農道整備 413m

6 月 横住格納庫 2 棟建設

3 月 群馬サファリパーク



発注者：安塚土木事務所
工事番号：国改築第 3- 1- 1- 43 号
工事名：□253 号（三和安塚道路）一般国道改築村道付替（補償）工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字桜島地内
工期：H12.10.13－H13.7.28
請負金額：69,171,000 担当者：杉本義夫
工事概要：（実）延長 146 m （有効）幅員 5.5 m
ブロック積工 730㎡ アスファルト舗装工 1832㎡
排水路工 168.5m
U 型側溝 300 型 143m 大型水路 1500 型 18m
現場の思い出：大型積みブロックを冬仕事で行い、大勢で積んだ。旧道から仮道を作り、新村道に切り替えた工事。



発注者：安塚地区振興事務所（林業）
工事番号：債地深第 4 号
工事名：国庫債務負担行為地すべり防止（渓流）工事
工事場所：東頸城郡浦川原村大字谷字豊畑地内
工期：H14.3.13－H14.12.27
請負金額：65,274,000 担当者：山本一弘
工事概要：流路工 37.6 m 土留工（鋼製組立枠）34.0 m V=165.7 m³ W=15.5 t
暗渠工（横孔ボーリング）1530.0 m 5.0 群 30.0 孔
現場の思い出：留工の施工中背面の地山が崩れ、土留めに切梁を設置しながらの施工で苦労した。

年 号

会社の出来事 写真

2002 [平成 14 年]

6 月 六日町車庫棟建設
5 月 ISO9001:2000 版登録



発注者：安塚地区振興事務所
工事番号：国連改第 16- 1- 1 号
工事名：□405 号国道交通連携（改築）工事
工事場所：東頸城郡牧村大字地光地内
工期：H14 年 8 月 8－H15 年 3 月 15 日
請負金額：155,079,000 担当者：小島宏之
工事概要：（実）延長 205m 掘さく工 6070㎡
盛土工 1570㎡ 法枠工 1032㎡
アンカー工 172 本 ヨコボーリング 7 孔（50 m*7 孔）
現場の思い出：法枠工は、グリーン産業。アンカー足場製作。
12/27 でアンカー 172 本施工完了。
横孔ボーリングは冬期施工。

2003 [平成 15 年]

4 月 河口湖と鍾山温泉の旅 (25、26 日)



発注者：新潟県上越土木事務所
事業名等：国連改第 3- 1- 0- 6 号
工事名：国道 253 号国道交通連携（改築）工事
工事場所：上越市浦川原区熊沢地内
工期：H16.2.18－H17.3.1
請負金額：139,028,000
担当者：杉本義夫 現場代理人：杉本義夫
主任技術者：杉本義夫
工事概要：橋台工 2 基 地すべり工 一式
抑止杭工 N=15 本
大型ブロック積工 A=124㎡
ブロック積工 A=20㎡

■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号	会社の出来事 写真
2004 [平成 16 年] 3 月 うらがわら保育園竣工 7 月 中越地方を中心に集中豪雨。7.13 水害 11 月 閉村記念式典 10 月 新潟県中越地震	 発注者：浦川原村役場 工事番号：村単道路新設改良事業 工事名：下池田上池田線道路改良工事 工事場所：東頸城郡浦川原村大字顕聖寺地内 工期：H16.15.17－H16.10.23 工請負金額：32,857,000 担当者：藤村勝久 事概要：土工 1.0 式 排水構造物工 1.0 式 構造物撤去工 1.0 式 舗装工 1.0 式
2005 [平成 17 年] 1 月 上越市が近隣 13 町村と合併 4 月 JR 福知山線脱線事故 5 月 妙高市誕生。糸魚川市も近隣の町村を編入	 発注者：上越地域振興局 工事番号：地第 2 5 号 工事名：地すべり防止工事 工事場所：上越市浦川原区上岡地内 工期：H117.5.12－H117.11.2 請負金額：18,764,000 担当者：山本一弘 工事概要：土留工（大型7トン籠） 63m 水路工 296.5m 現場の思い出：最大勾配 60%での作業は大変だった。
2006 [平成 18 年]	5 月 事務所移転（横住⇒本社合流）  発注者：上越地域振興局 工事番号：緊地改第 3-19-00-00 号 工事名：主柿崎牧線緊急地方道（改築）工事 工事場所：上越市牧区平方・大月地内 工期：H19.1.24－H19.10.4 請負金額：39,583,000 担当者：小島宏之 工事概要：延長 № 18+10.3～№ 23 89.7 m アンカー工 E19+J37=56 本、フレ 56 本 ・PC フレーム設置のみ 21 基 ・PC フレーム（スクエア）46 基支給 植生基材吹付 A=114㎡ 吹付枠 300 × 300 L=91m 現場の思い出：Made in 新潟「エコマッドスクリーン工法」が設計の中に計上された。沈殿タンク 2 個を作成し、作業は非常にうまくいった。
2007 [平成 19 年] 7 月 新潟県中越沖地震	 発注者：上越地域振興局 工事番号：国地改第 4-01-00-04 号 工事名：□2 5 3 号地域連携（国道改築）浦川原 1 号トンネル内装板工事 工事場所：上越市浦川原区桜島・熊沢地内 工期：H19.11.7－H20.3.30 請負金額：86,911,000 担当者：蓑和正文 工事概要：トンネル工 1862 m トンネル内装板（タイル直張り）A=7604 m コンクリート舗装工 101㎡ 防護柵工 手摺柵 1777 m 現場の思い出：タイル張りは、1 号 TN と 2 号 TN 共ヨシダメンテナンス（1 次）⇒宝菱産業（2 次）で施工した。宝菱の職人が倉庫等を宿舎にして作業した。

年 号

会社の出来事 写真

2008 [平成 20 年]

4 月 松島と秋保温泉「伝承千年の宿 佐勘」30 名



発注者：上越地域振興局
工事番号：緊地改第 1-55-00-00 号
工事名：主柿崎牧線緊急地方道（県道改築）工事
工事場所：上越市牧区平方・大月地内
工期：H21.3.3－H21.11.12
請負金額：102,675,000 担当者：藤村英明
工事概要：（実）延長 № 3+12.0～№ 24 408 m
（有効）幅員 6.0（8.5）m 盛土工 2596㎡
側溝工 551 m 下層路盤工 3270㎡
現場の思い出：軽量盛土に気泡混合軽量盛土という、上越地域振興局内で初の施工現場になった。

2009 [平成 21 年]

9 月 エコアクション 21 登録



発注者：上越市
工事番号：道交改第 21-3-102 号
工事名：橋梁新設（下部）工事
工事場所：上越市浦川原区顕聖寺・下柿野地内
工期：H21.12.10－H22.6.7
請負金額：18,828,000 担当者：藤村英明
工事概要：土工 築堤 1 式
橋台（逆 T 式）1 基（69 m 3）1 基
場所打杭（1200mm）3 本
護岸ブロック工 242㎡

2010 [平成 22 年]

北陸新幹線橋面防水 CS 21 II 工法工事多数施工
3 月 ISO9001:2000 版登録取り下げ
4 月 木曽路と昼神温泉「グランドホテル天心」40 名



■浦川原出来事 ■新潟県・上越地方出来事 ■日本出来事
■藤村組・社内関連 ■環境サービス関連 ■共通の出来事

年 号

会社の出来事 写真

2011 [平成 23 年]

3 月 東日本大震災、長野
県北部地震

7 月 アナログ放送終了

6 月 本社改装（屋上補強・外壁塗装等）



発注者：上越地域振興局整備部
事業名等：戦略県改第 128-00-00-00 号
工事名：主柿崎牧線地域自主戦略交付金 主要地方
道路柿崎牧線拡幅道路改良工事
工事場所：上越市浦川原区大字横住地内
工期：H23.6.30－H24.3.5
請負金額：48,470,000
担当者：山本一弘 現場代理人：山本一弘
主任技術者：山本一弘
工事概要：(実) 延長 L=169m
(有効) 幅員 W=6.0(12.0)m
コンクリート擁壁工 本線 L 型擁壁 (H=3.0～
3.5m) 64 m
側溝工 車道部側溝 PU3-300A 151 m



発注者：(株)武江組（上越地域振興局）
工事番号：23 災道第 624-00-00-00 号
工事名：主上越安塚柏崎線道路災害復旧工事
工事場所：上越市大島区板山地内
工期：H23.9.8－H24.3.15
請負金額：42,534,000 担当者：小島宏之
工事概要：(実) 延長 27.5 m
(有効) 幅員 5.5 (7.5) m
ブロック積工 233㎡
大型ブロック (SL9.99～11.14m)
アスファルト舗装 92㎡
現場の思い出：10 月中旬から着工。降雪前まで施工
せねばならず、工程管理に苦労した。(株)武江組さ
んが優良工事受賞



発注者：(株)室野建設（十日町地域振興局）
工事番号：23 災河第 1275-00-00-00 号
工事名：一級河川濁川河川災害復旧（第 1275 号）
工事
工事場所：十日町市室野地内
工期：H24.2.22－H24.12.27
請負金額：79,796,700 担当者：小島・山本
工事概要：第 1275 号：(実) 延長 9.0 m
ブロック積工 SL=4.92m 41㎡
第 1276 号：(実) 延長 8.8 m
ブロック積工 SL=4.90m 31㎡
第 1615 号：(実) 延長 144.7m
現場の思い出：護岸切土面が地すべり状態となり、
背面グラントアンカー工に変更となる。(株)室野建設
さんが優良工事受賞

年 号

会社の出来事 写真

2012 [平成 24 年]

3 月 板倉区国川地内地す
べり発生

5 月 金環日食、スカイツ
リー開業

4 月 社名看板リニューアル

4 月 加賀屋と能登路 38 名（22、23 日）



発注者：上越地域振興局
事業名等：戦交安第 110-00-01-00 号
工事名：日 253 号地域自主戦略交付金（交通安全）
工事
工事場所：上越市浦川原区顕聖寺地内
工期：H24.8.10－H25.3.15
請負金額：23,825,000
担当者：藤村 英明 現場代理人：小山 哲郎
主任技術者：小山 哲郎
工事概要：歩道工 45.1m
門型カルバート 9.48m
側溝 45.7m 舗装工一式

2013 [平成 25 年]



発注者：上越地域振興局
工事番号：国地改補 第 3-01-00-02 号
工事名：□253 号（三和安塚道路）今熊工区 道路
改良工事
工事場所：上越市浦川原区今熊地内
工期：H25.7.5－H26.3.1
請負金額：46,310,000 担当者：杉本義夫
工事概要：(実) 延長 448 m
盛土工 3,300㎡
土工 補強土壁 2 箇所
コンクリート擁壁工 52 m
プレキャスト L 型擁壁 (H=3.0m)
側溝 284m BF-I 300 L=272m

2014 [平成 26 年]

4 月 26 日（土）～28 日（月）
創業 60 周年記念慰安旅行（2 泊 3 日）
横浜中華街、稲取温泉銀水荘泊

4/26(土)

AM6 時：本社出発
環境サービスクリーン課
業務終了後電車で合流

昼食
築地 すしざんまい

つきじ喜代村
すしざんまい
SUSHIZANMAI



昼食後

靖国神社
Yasukuni Jinja

靖国神社参拝



ホテル到着後
横浜中華街散策
(自由行動)



4/26(土)

環境サービスクリーン課
電車で合流、中華料理で夕食

4/27(日) 新長八幡宮



昼食

金目鯛ご飯





稲取温泉・稲取銀水荘ロビーにて


稲取 銀水荘


4/27(日)

(株)郷土建設藤村組 創立 60 周年記念 大宴会



サプライズ 1：環境社長のギター弾き語り

サプライズ 2：60 周年記念前掛けを着けた役員





大宴会終了後、二次会、
各部屋での一杯・・・



4/28(月)

日本の滝百選
国立公園 伊豆大城 浄蓮の滝
高さ 25m 幅 7m



昼食

地ビールを飲みながら、バイキング

バイキング レストラン 麦畑

バイキングレストラン 麦畑
MUGIBATAKE



以上で無事終了しました。幹事の皆さんご苦労さまでした。

許可・所属団体・特許・有資格者

【許可】

●建設業許可番号 新潟県知事 許可（特-22）第9605号、（般-22）第9605号

建設業の種類 土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、石工事業、管工事業鋼構造物工事業、
ほ装工事業、防水工事業、造園工事業、さく井工事業、水道施設工事業（特定）、電
気工事業（一般）

●建築士事務所 株式会社 郷土建設藤村組 一級建築士事務所

登録番号 平成26年1月25日 新潟県知事登録（ト）第1761号

●上越市下水道排水設備指定工事店証 指定（登録）番号 第350号

●上越市指定給水装置工事事業者証 指定番号 第207号

●特例浄化槽工事業者届出 新潟県知事（届-19）第140030号

●産業廃棄物収集運搬業許可証 新潟県知事 許可番号 01506151025

【加盟団体】

●社団法人 新潟県建設業協会 安塚支部 副支部長 藤村博俊

●上越市建設業協会

●アストン協会

●上越市排水設備工事組合

●新潟県コンクリート診断士会

●水路補修改修研究会

●上越市管工事受託組合

●新潟県地すべり防止工事士会

【特許関連】

●取得特許 特許第3869824号 法面削孔装置の移動式足場 平成18年10月20日

●特許出願中 特願2013-229316号 多連式梯子 平成25年11月5日出願

【グループ内主要有資格者】重複有り（カッコ内は環境サービス所属）H26.3.31現在

技術士登録1名 コンクリート診断士2名（1）

コンクリート主任技士1名（1） コンクリート技士2名（1）

一級建築士2名（1） 地すべり防止工事士4名（1）

一級土木施工管理士15名（6） 二級土木施工管理士10名（3）

一級建設機械施工技士10名（3） 二級建築施工技士12名（6）

一級建築施工管理技士5名（2） 二級建築施工管理技士2名

一級造園施工管理技士4名（2） 二級造園施工管理技士3名（1）

一級管工事施工管理技士5名（1） 二級管工事施工管理技士2名（1）

一級電気工事施工管理技士4名（4） 一級舗装施工管理技士6名（2）

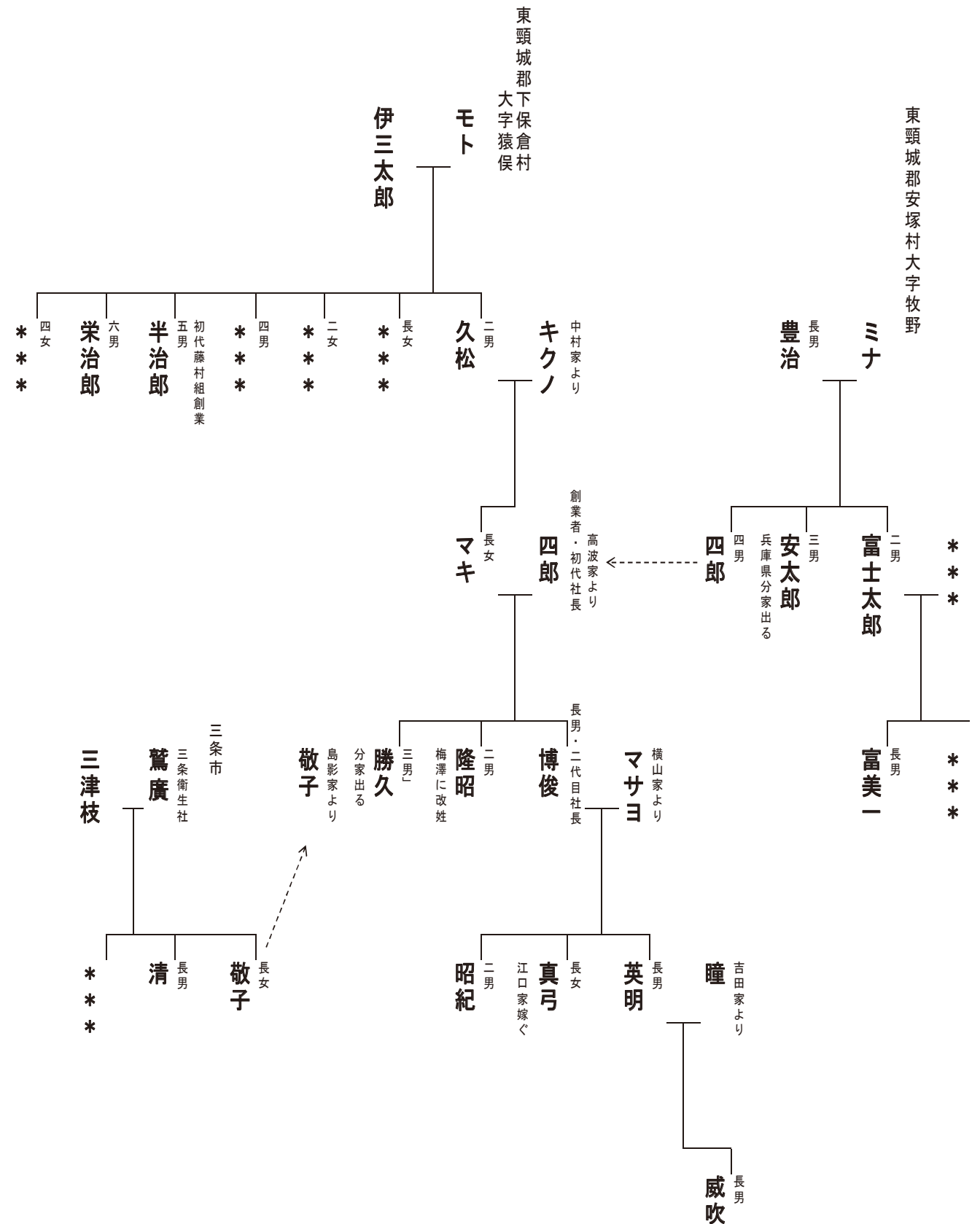
解体工事施工技士3名（1） 建設業経理事務士3名（2）

給水装置工事主任技術者8名（5） 測量士補4名（2）

グラウンドアンカー施工士2名（10） アストン技士7名（3）

農業水利施設補修工事品質管理士2名

会社関連家系図



編集後記

会社の創業（昭和 29 年 1 月）から 60 年が経過する節目の年に「会社 60 年史」をまとめて出版しようという話もちあがり、昨年（平成 25 年）8 月頃の役員会において私が担当することになりました。

最初のうちは漠然としていてどのように進めていったらよいのか分からなかったのですが、他社の社史を見たり、新潟日報事業社の方にお話を聞いたりして、会社にわずかに残っていた古い写真や資料をまとめていくうちに、だんだんと今のような構成になってきました。

とりわけ昨年 11 月末に郷土建設藤村組創業当時働いておられた 5 名の方々から集まっていただき、直接当時の思い出話を聞くことができ、私たちの知らないことも多く大変参考になりました。当時の雰囲気を残すため座談会記録という形でまとめてみました。

この社史の資料収集・編集の作業を通じて、この 60 年を振り返ってみると、私見ですが、大きく 4 段階に分けることができるのではないかと思います。

- I . 創業期（昭和 29 年～昭和 43 年）藤村四郎が会社を創業してから病に倒れるまで
- II . 低迷期（昭和 44 年～昭和 51 年）社員離散、大型倉庫手放し、四郎病ながら細々事業継続、
長男博俊中心にアルバイトで手助け、その後入社
- III . 発展期（昭和 52 年～平成 9 年）三男勝久（昭和 52 年）次男隆昭・春日武義（昭和 54 年）入社、
株式会社に改組（昭和 54 年）、㈱環境サービス設立（平成元年）
- IV . 減少期（平成 10 年～現在）全国的な公共事業の減少の流れに伴う完成工事の減少と低位安定。
最大完成工事高 13 億（H9）の 3 分の 1 程度に減少し、ここ 10 年程は 4 ～ 5 億程度の完成工事高で低迷している

そして現在 2 代目社長博俊の長男英明が入社し（平成 17 年）、創業者四郎の子供 3 兄弟も順次還暦を迎えることとなり（平成 26 年 4 月現在：博俊 62 歳、隆昭 60 歳、勝久 57 歳）、次の時代を担う人への移行期に入ったと思います。

新たな段階への変換期に当たり、創業からの歴史をまとめて次世代を担って行く人たちにバトンタッチできる良いきっかけになったと思います。

資料収集・情報提供していただいた方々に感謝するとともに、暗中模索の中、このように立派な会社の 60 年史にまとめてくださった新潟日報事業社の方々に御礼申し上げます

最後に株式会社郷土建設藤村組と株式会社環境サービスが、今後とも地域の人たちに愛され、ますます発展していくことを祈念して編集後記とします。



株式会社郷土建設藤村組
専務取締役 梅澤 隆昭

故 藤村勝久の死を悼んで（追記）

㈱環境サービス・代表取締役並びに㈱郷土建設藤村組・常務取締役 藤村勝久は、この「60 年史」の最後の校正を行っている最中、平成 26 年 6 月 14 日午前 7 時 23 分、「(心筋梗塞による) 急性心不全」のため、上越総合病院で亡くなりました。6 月 30 日の誕生日を目前にした 57 歳の短すぎる生涯を閉じてしまいました。ここ数年は体にも気をつけ、好きな酒も週に 2 ～ 3 日は休み、時間がある時は家の周りを軽くジョギングするんだと話しておりました。兄弟 3 人の中では一番長生きすると私は思っていました。平成 19 年 4 月に思い入れの強い㈱環境サービスの社長に就任し、社長業にも慣れてきて「さあこれから」という時でしたので、本当に残念です。

この社史の中でも明らかなように、㈱環境サービスと㈱郷土建設藤村組の今日に至るまでに彼の果たした役割は非常に大きなものがありました。

あまりの突然の死に、今はまだ心の整理がつきません。葬儀の事実のみ書き留めます。

記

通夜：平成 26 年 6 月 16 日午後 6 時 直江津セレモニーホールへいあん 会葬者約 240 名
葬儀：平成 26 年 6 月 17 日午前 10 時 直江津セレモニーホールへいあん 会葬者約 320 名
生花：109 本 弔電：99 通



16 日 PM4 時 本社にお別れ



祭壇と遺影



葬儀の様子



出棺見送り

本当にご苦労さまでした。安らかに眠りください。そして空の上からこの 2 社をお守りください。
(平成 26 年 7 月 梅澤記)

会 社 の 轍
会社創業から 60 年のあゆみ

平成 26（2014）年 8 月 10 日 発行

発 行 株式会社郷土建設藤村組
新潟県上越市浦川原区横川 412-1
TEL 025-599-2400 FAX 025-599-2180

制 作 株式会社新潟日報事業社



株式会社 郷土建設藤村組